

August
8.1

1996
No. 680

小田原

広

報

ODAWARA
Public
Information



発行*小田原市

小田原市荻窪300番地 ☎250

編集*広報広聴課

☎0465(33)1261

(毎月1・15日発行)

恵まれた自然環境、長い歴史と文化、そしてまちに暮らしている
たくさんの人……。
小田原のいろいろな財産を生かして、新しいまちをつくっていく
のはあなたです。

新しい総合計画をつくりまします



●主な内容

- ◆特集：新総合計画……………2
- ◆ときめき国際学校開校中……………8
- ◆こんにちは市長さん……………11
- ◆おだわら・くらしのテレフォンガイドを利用していますか?……………13

特集：新しい総合計画をつくります

めざせ 小さな世界都市 20万人のまちづくり



小田原市長
小澤良明

21世紀まであと5年。世界が、日本が、新しい時代に向けて動き始めています。私たちのふるさと小田原が、50年、100年先まできらめき続けるために、20万市民全員でまちづくりを行おうではありませんか。

めざすは、個性をきらめかせるオンリーワンのまち。市は恵まれた財産を生か

し、人の力を集め、「小さな世界都市」を目標に、新しい総合計画をつくることにしました。この新総合計画は、来るべき21世紀の小田原を切り拓いていく道標となるもので、先見性と柔軟性を備えていなければなりません。計画がスタートする平成10年に向けて、みんなでいっしょに将来の小田原市を考えていきましょう。

Part 1
数字で発見

いまの時代、 これからの小田原

私たちの暮らす小田原市は、いったいどんなまちで、現在どんな問題を抱えているのでしょうか。意外に知らなかった小田原の姿が、7つの数字によって浮き彫りになってきます。さまざまな魅力と課題をもつ小田原を、将来どんなまちにしたいのか。あなたのもつ夢と照らし合わせながら、考えてみてください。

4.3人
平成12年の小田原市の高齢者
1人当たりの生産年齢人口

世界一の長寿国となった日本。社会の急速な高齢化によってさまざまな課題が生じています。「高齢化社会」は平均寿命が長くなる一方で子供の数が減るので、高齢者の割合が高くなるのです。小田原市の場合、現在は働き盛りの人6人弱で1人の高齢者を支えています。今後、高齢者の割合はますます増える見通しで、平成12年には、4.3人で1人の高齢者を支えることになる予測されています。

高齢者の中には、もちろん元気で若々しく活動する方も大勢いらっしゃいます。でも、何らかの社会的な支援が必要な方も増えているのです。高齢者にやさしいまち、これはまちづくりを進めるうえで重要なキーワードとなりそうです。

1.8倍
現在の栄町駐車場の収容台数
と比較した、平成9年度に完成
する栄町駐車場の収容台数

マイカーの普及によって、車は私たちの生活に欠かせない存在となっています。車で移動する人にとって、いつも頭を悩ませるのが、交通渋滞と駐車場の確保。昨今の交通量の増加は、ドライバーだけでなく商業活動や観光産業にも

影響を及ぼしています。

混雑の激しい小田原駅周辺の駐車場対策として、今月から栄町駐車場の建て替え工事が始まります。この駐車場の完成によって、収容台数は現在の260台が460台に増え、これまでの1.8倍の車の収容が可能になります。



98,000食

緊急時の備蓄食糧

冬の平日の午後5時ごろでマグネシウム7の地震が起きた場合、小田原市内の災害（自宅に住めなくなる人）は2万2800人と想定されています。

市が現在、用意している備蓄食糧は9万8000食。り災者1人当たり4・3食分です。一般に、非常時には1人当たり3〜4日分の水と食糧を備えておく必要があるといわれます。市民一人ひとりが、いざというときの備えを整えておきたいものです。



3.07 m²

小田原市の1人当たりの都市公園面積 (平成7年)

海、山、川など、水や緑が豊かな環境は小田原の大きな財産です。生活に身近な場所にも、木漏れ日や草の香りに親しめる公園がほしいもの。そこで市は、都市空間の中に公園を増やしていく努力をしています。また、子供のより公園や県立公園など大規模な公園をつくる計画も進んでいます。現在の1人当たりの都市公園面積は3・07m²と、県内ではやや少なめ。でも、こうした計画が実現に向かえば、小田原はいま以上に快適なまちになるでしょう。

126件

小田原市内の国・県・市指定文化財 (平成8年)

小田原市は、北條氏の時代から500年以上の歴史を誇る城下町です。市内にある指定文化財の数は126件。都市化が進む昨今ですが、こうした文化遺産は、自然環境とともに、次の世代に大切に受け継いでいかなければなりません。開発を進める一方で、古い歴史・文化を大切にすることを忘れずに、まちづくりを進めていきたいですね。

1,061人

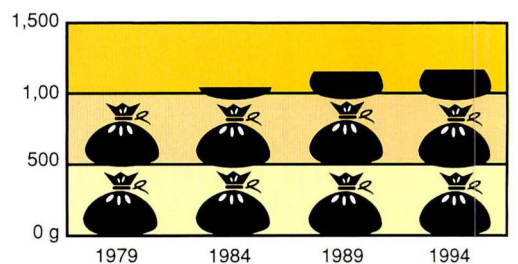
1日当たりの天守閣入場者数 (平成7年度)

ねてみたくなるようなまちを築いていきましよう。

自然に恵まれ、歴史的遺産が豊富な小田原市は、これまで多くの観光客でにぎわってきました。平成7年に小田原市を訪れた観光客数は、北條五代祭りや梅まつりなど各種イベントを含め延べ430万人以上。ところが、近年は、景気の悪化・停滞が影響してか、観光客はあまり増えていません。全国、そして世界の人々に魅力いっぱいの小田原を訪れてもらうためには、わたしたち迎える側のもてなしの心が大切です。観光資源や歴史的遺産といった小田原の個性を再確認し、磨き上げて、多くの方が訪

1,178g

小田原市で1人が1日に出すごみの平均量 (平成6年度)



小田原市は、平成7年度を環境元年として、環境基本条例の制定をはじめとする環境対策に、積極的に取り組んでいます。市民の皆さんの協力もあり、焼却や埋め立てなどをしないでリサイクル（再資源化）するごみの割合は10・5%と、県内19市の中では5番目となっています。また、環境問題に対する意識の高まりから、1人当たりのごみ排出量は、ようやく少し減り始めました。でも、企業や家庭から出るごみの全体量は年々増えているため、処分場はもうすぐ満杯。ごみの問題を一人ひとりが再認識し、ごみを減らすよう努力していくことが必要といえるでしょう。



Part 2 ● 市民全員がつくり手だから

まちで聞ききました 意見&要望

小田原市をよりよいまちにしたい！ その思いは20万市民全員に共通のもので、まちづくりは、市民一人ひとりが主役でなくてはなりません。そこで、小田原で暮らす人々が今、どんな考えをもっているのかを知るために、街頭インタビューを行いました。その中で出てきた市民の声を、ご紹介しましょう。

個性と独創性のある まちづくりを！

温暖な気候が気に入っています

・小田原に住んで25年。情緒のある落ちついた雰囲気や、たずまいは壊してほしくありません。(50歳代・女性)

・自然が豊かで、子供を育てるには非常によい環境に恵まれていると思います。(30歳代・女性)

・今後も、今のままのまちであってほしい。田んぼもこれ以上開発せずに残して！(10歳代・女性)

・小田原の魅力は、なにより**気候が温暖**なこと。横浜や東京といった都会に出るには便利な一方で、大都市から適度に離れているからこそ、このまちらしい静かな雰囲気を保てるのでしょね。(20歳代・女性)

どうする？

競輪場

・競輪のある日は、小田原駅や会場周辺は大混雑です。競輪の開催はやめてもらいたいですね。(40歳代・女性)

・競輪事業の収益は無視できないと思います。ただ、小田原駅周辺の交通渋滞を考えると、別の場所に移転する必要はあるでしょうね。(40歳代・男性)

このままでは、にぎわいのない「つまらないまち」に…

・商店の開店時間を延長したり、イベントやみやげ物のPRを積極的に進め、魅力あるまちをアピールするべきだと思います。(50歳代・男性)

・**道案内を充実**させたり、観光コースを設定したりして、観光客に対するサービスをを行う必要があるのでは？(50歳代・女性)

・酒匂川河口のサーフィンのポイントに**海洋レジャー**施設をつくって、観光地化したらどうか…。(20歳代・男性)



もっと暮らしやすいまちにするためには、駅前周辺の活性化を

・都市計画をもっとしっかりとすべき。特に、入場券を買わなければ駅の反対側に行けないなんて、不便の極み。小田原駅**自由通路**の整備は、すぐに進めてほしいです。(30歳代・男性)

・小田原駅**西口の再開発**を積極的に進め、新しい「小田原の顔」をつくるべき。(30歳代・女性)

・活気あるまちにするには、商店の近代化と、大型店の誘致が必要なのではないでしょうか。(30歳代・女性)

真に市民のためになる市政を期待します

・インターネットなど、**OA化**、機械化が進んでいます。これが高齢者へのサービス低下につながるようになってほしくないです。(50歳代・男性)

・小田原市は、地域活動が活発なところ。福祉への関心が強いので、今後も積極的に市政に参加していきたいです。(30歳代・女性)

・市政に関わりたくても、現状ではその手だてがわかりません。もっと積極的な情報提供を！(60歳代・男性)

・市役所の**防災無線**を利用した放送は、内容がよく聞きとれません。緊急時に備えて、万全の対策で不安を取り除いてください。(40歳代・女性)

守りたい！小田原の自然、環境

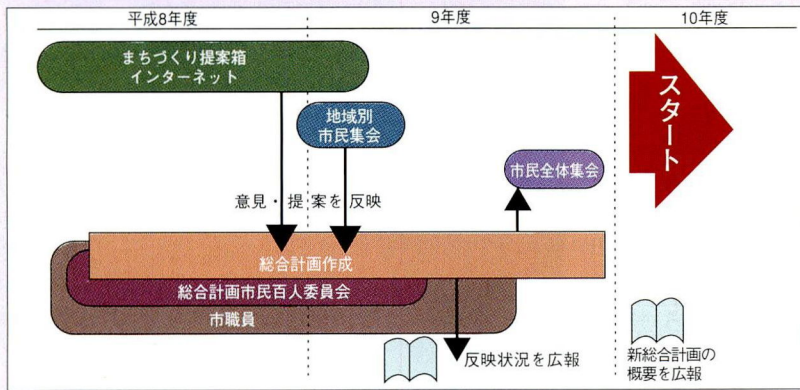
・環境保全のために、ごみの分別収集をもっと徹底させるべきです！(30歳代・女性)

市民のための公共施設をもっと充実させて

・図書館や公園など、公共施設の規模が中途半端。平塚の**総合公園**のような大規模な公園があればいいですね。(30歳代・男性)

・文化施設があまりにも貧弱。イベントやコンサートなども少ないし、質もものたりません。市民のための施設や催しを充実させてほしいな。(20歳代・女性)

あなたの声を広く募集しています



新しい総合計画を市民の皆さんと一緒に考え、一緒に実行していくために、小田原市は、幅広いご意見やアイデアをお待ちしています。ひとりでも多くの皆さんの、まちづくりに対する夢をお聞かせください。

高齢化問題には、まち全体で取り組むことが急務

・高齢者のために、人材バンクなど活躍の場の確保を。また、カルチャーセンターや老人サークルをつくって、高齢者がいろいろな楽しみをもてるような体制を整えてほしいですね。(60歳代・男性)

・将来、深刻になるであろう老人介護の問題に備えて、**若い人も介護**するような介護施設をつくっては？(30歳代・男性)

●まちづくり提案箱

新しい総合計画の策定に当たり、皆さんが考えることを自由に書き、投かんすることができ、提案箱です。市内の公共施設に設置しましたので、ぜひ、ご利用ください。



○設置場所

市役所、支所、連絡所など、市内31か所の公共施設に設置

○提案方法

提案箱に備え付けてある用紙をご利用ください。

○設置期間

平成8年6月1日～平成9年5月31日

●インターネット

市からは、新しい総合計画づくりについて基本的な考え方や進行状況をお知らせしていきます。

また、ホームページで、市民の皆さんからのご意見やアイデアを募集します。

【小田原市ホームページのアドレス】

<http://www.space.ad.jp/odawara/index-j.htm>

Part 3

まちづくりは夢づくりだから

市民百人委員会に 入りました

何十年、何百年先を考えた まちづくりが必要ですね

都市建設担当班 市川喜成さん

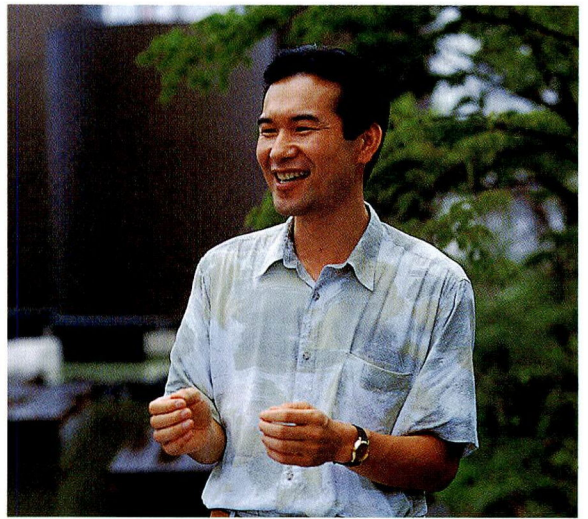
「都市建設担当班」を希望されたいならば理由は何ですか？

私は、平成5年度に市が行った市政モニター「きらめき倶楽部」の1期生なんです。公共の施設を見て回り、いろいろな意見を言わせていただいたのですが、できたものや決まったことに對して考えを述べるとというのが、少し物足りなかつたんですね。今回の「百人委員会」では、計画の段階から市政に参加できる。それなら、まちづくり全体の構想に関わる「都市建設担当班」に参画したいと思ひ希望しました。

市川さんは、小田原市の都市建設で何が最も必要だと思いますか？

真っ先に行わなければならないのは、交通網の整備でしょう。それも、道を一本つくって、その周辺を整備して…という従来のやり方ではダメ。東西南北すべてにわたったスムーズな交通が可能になるように道路を整備し、トータルに見て市民が生活しやすくなるような交通網をつくっていかねばならないと思ひます。

都市建設が進むと、城下町としての小田原のよさが損なわれてしまうのではないかと、という声も出てきそうですが…。



そうですね。私も、小田原で生まれて小田原で育った人間ですから、その気持ちはわかります。ただ、「小田原らしさ」というものは何百年も前の人々から、現代に生きる私たちがまでが、そのときそのときで変化を加えながら築いてきたもの。ですから、変わっていったって当然なんです。その変化の中で、歴史や文化遺産をどう残していくかが問題でしょう。

私が理想と考えるのは、イタリアやドイツなどのヨーロッパの都市。ここでは、何百年も前の建造物が、市民の生活の中に見事に融合しているんです。小田原市も、文化遺産をただ保護するだけでなく、その周囲の家、道路、街路樹一本まで考え、「歴史と文化のまち」としての景観を整えていってほしいですね。そのためには、何十年、何百年先まで考えた都市計画のビジョンが必要だと思います。

最後に、今後の活動の抱負をどうぞ。

6つの班に分かれて活動していくわけですが、時には班の垣根を越えて意見を交換し、より実のある活動にしていけたらと思ひています。市民が目ごろ、抱いている意見を反映させるよう、責任をもって取り組んでいきます。

新総合計画は 平成10年度スタート

市民の皆さんがより暮らしやすいまちをつくるために、市は昭和61年に策定した総合計画「おだわら21世紀プラン」に基づいてまちづくりを着実に進めています。現在、後期基本計画の4年目に入っていますが、少子・高齢化、本格的な情報化、地球環境の問題の台頭といった昨今の社会経済情勢を受け、新しい総合計画を策定することになりました。

●新総合計画の構成

新総合計画の計画期間は、平成10年1998年から平成22年(2010年)までの13年間です。



●まちづくりは まちの個性を知ることから

① 小田原の特徴を再認識してみましよう。
潜在的な魅力

温暖な気候と豊かな自然、500年以上にわたる歴史と文化遺産は小田原の財産です。

② 拠点としての機能

古くから東海道の中でも屈指の城下町であり、国際的な観光地への玄関口、県西部の交流拠点としての機能をもちます。

③ 自立した都市
海・山・川という地形、さまざまな産業がそろっており、自立した都市圏として発展する可能性を秘めています。

今後の高齢化社会に向け、地域と一体となった取り組みを

保健・医療・福祉担当班 三井文子さん

——百人委員会では、保健・医療・福祉関係のテーマに取り組んでいられるわけですが、ご自身は、どんな意見をもっておられますか？

近い将来、本格的な高齢社会を迎えるわけですから、市はいままで以上に高齢者介護のシステムを整えていかなければならないと思います。それと同時に、介護の必要はないけど、ひとりではなかなか活動できない高齢者の方がこれから増えてきます。こうした方々へのケアも、今後の課題なのではないでしょうか。

——具体的には、どんな展開が望ましいとお考えですか？

多くの方は、老後を在宅で過ごすわけですよね。そうすると、特に体の具合が悪いわけではないのに、家に閉じこもりがちになってしまったりも出てくると思うんです。こういう方々に、自由に参加して楽しんでもらえる場があれば、高齢者の心の刺激になるはず。また、その場を通じて、理学療法士や保健婦が健康のチェックを行うなど、介護が必要になる前の人に対して、ケアのシステムを充実させておくことが必要だと思います。

——寝たきりや痴ほうが軽度の人々を重度にしないためのサービスが、これからは重要にならないか？

——小田原在住40年の菅谷さんにとって、小田原の魅力とはどんな点ですか？

暖かく、気候が穏やかである点、海、山、川の自然に囲まれている点など、住みやすいところですね。それに加えて、たくさん文化遺産が残る歴史あるまちだという点。これは、小田原ならではの魅力といえるでしょう。その歴史を、小田原のまちの活性化につなげていくことはできないのでしょうか？

小田原は、城下町としての知名度は高いのに、実際には箱根に行く途中で「通過するまち」という存在になっていくんですよね。これでは、まちの活性化につながらない。小田原城をはじめとする歴史的遺産を魅力的にしたり、数々の文人が訪れたまちという文化性をアピールしたりして、まちに多くの人を呼び寄せる努力をする必要があると思います。

——文化芸術とともに、委員会では生涯学習が大きなテーマとして掲げられていますね。こ



つてくるわけですね。

そのためには、公共サービスを待っているだけではなく、市民も巻き込んだ地域ぐるみの仕組みをつくらなくてはなりません。百人委員会は、そのための第一歩ともいえる試み。将来の福祉に向けて、広がりのある活動になるよう、積極的に意見を発表していきたいと思っています。

——これについては、どんな考えをおもちですか？

私自身、仕事をリタイアした身なんですけど、これからは、仕事をやめたあと家で何をしたいかわからないという人が増えると思います。まずは、「学習」という難しいものでなくてもいいから、高齢者のために「楽しむ場」となるような会を設けてほしいですね。人間にとって、空腹よりも精神の貧困のほうが苦痛なんです。会を通じて同じ楽しみを味わう仲間をもてれば、人生はもっと楽しいものになります。委員会では、人々が精神的に豊かになれるような生涯学習のあり方を提案していきたいと思っています。

●まちづくりの理念

これからの時代のまちづくりは、次の3つの理念に基づいて行うことが望まれます。

- ①暮らしの質と都市環境の質を高める
物質的な豊かさだけでなく、心の張りや生きる喜びのある社会の形成をめざします。
- ②自分らしさと小田原らしさを表現する
ライフスタイルに応じた多様な選択のできる舞台をつくり、新たな小田原文化を創造していきます。
- ③信頼と責任に培われた市民自治へ
市民と行政の信頼のパートナーシップを深め、市民が主役の成熟したまちづくりをめざします。

●まちづくりの課題

- いま小田原市は、まちづくりの課題を大きく5つに分けて考えています。
- ①総合的な居住環境と余暇環境の整備
地球環境の保全・回復・創造をしながら、住みよい環境と魅力ある余暇施設を整備する必要があります。
 - ②地域の産業・経済の強化と安定化
主力産業と既存産業、地場産業などの地域商工業を活性化させるとともに、まちの拠点性を高めることが必要です。
 - ③都市機能の充実と高度化
都市景観に配慮しながら、高速交通網や高度情報通信網を生かして、地域内外の交流を活性化することが必要です。
 - ④人口の安定・健全化
活力のあるまちづくりのために適正な人口規模を確保し、各世代のバランスの回復に努めなければなりません。
 - ⑤個性的・魅力的な文化の創造
まちづくりの原動力となる地域愛を培うため、ふるさとの個性の発見や文化の創造を暮らしや産業と連携させ、相乗効果を生み出すことが必要です。



小田原の魅力をアピールし、だれもが行きたくなるまちをつくりたい

生涯学習・芸術文化担当班 菅谷市朗さん

企画政策課 職員から一言



総合計画市民百人委員会の委員を募集しましたところ、定員を大きく上回る193人の方々にご応募いただき、本当にありがとうございました。皆さんの熱意に、改めて身の引き締まる思いです。企画政策課では、今回参画いただけなかった方々の意志も大切にしたいと考えています。別のお機会にご協力を願うこともあろうかと思っておりますので、今後ともよろしくお願いいたします。

▶問い合わせ 企画政策課 ☎33-1253

ひと夏の交流・永遠の友情 ときめき国際学校開校中!

小田原での交流

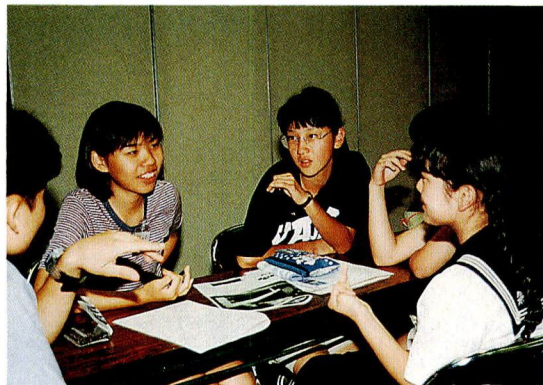
今年も、オーストラリア・マンリー市とアメリカ・チュラビスタ市の中・高校生ら34人が本市を訪れ、ときめき国際学校に参加しました。一行は、7月18日から29日まで、市内の家庭にホームステイをしながら、本市中・高校生50人と交流しました。

これに先立ち、50人の小田原の生徒は、7月初旬から小田原とオーストラリアでの交流のため事前



研修に取り組み、自分たちの手で交流プログラムをつくりました。議論や練習を重ね、十分に準備をした結果が、文化紹介や班別日帰り旅行などの成功につながったようです。

ホストファミリー・市民スタッフ・実行委員のボランティア協力



海外からの参加生徒は、市内の家庭にホームステイをしながら、日本の生活様式や食事などを体験しました。また、この学校の運営

■ときめき国際学校日程

4～5月の募集、6月の選考会と説明会を経て、いよいよ交流が始まりました。全日程参加というきびしい条件なのか、期待と不安、新しい発見に参加生徒は一喜一憂。

■事前研修 (小田原とオーストラリアでの交流のための準備)

7/6-14 交流プログラムづくり/英会話/海外でのマナー習得など

■国内交流 (小田原での交流)

7/18・19・20 開校式、19日 : 市役所半日所属長/キャンプ(ふれあいの村)

7/21 ホームステイデー

7/22～26 スポーツ交流、英語の指令書を持つての市内探検、文化紹介や国別発表を行う宿泊交流、参加生徒の自主企画による交流プログラムや日帰り旅行など、昼間は生徒同士、夜は家族で異文化体験

7/27～29 ホームステイデー、28日: フェアウェルパーティー、29日 : 海外生徒帰国

■海外交流 (オーストラリア: マンリー・メルボルンほか)

8/7～12 オーストラリアへ出発。<マンリー>8日～12日: マンリー市参加生徒の家庭にホームステイ。この間、市長表敬、小田原アベニューでの記念植樹、学校登校など、生活文化を体験

8/13～15 <メルボルン>南半球ならではの野生動物や南十字星など星座の観察、乗馬教室などの自然体験学習

8/16～20 <マンリー>学校登校、マンリー生徒と2泊3日のキャンプ、ホームステイ、さよならパーティー 20日帰国

■事後研修

8/22・23・27 交流を終えて、帰国報告、反省会と報告書の作成

オーストラリアでの交流

ときめき国際学校はこれら、市民の皆さんの協力なくしてはなり立ちません。にぎわいとふれあいにあふれた交流が、年を追うごとに広がり、深まっています。

を担当する実行委員をはじめ、事前研修や小田原での交流プログラムの中では、実践英会話の講師やキャンプでの裏方など、いろいろなかたちで、市民スタッフの皆さんや各種団体の方にもご協力をいただきました。

ときめき国際学校に参加

けんもつけんたろう
剣持健太郎 (中里在住)



ぼくは以前からほかの国の人と話したり遊んだりできたらいいと思っていました。昨年、オーストラリアからの少年がぼくの家にホームステイしました。12日間という短い間でしたが、一緒に生活するうちに、言葉の壁を乗り越えて、身振りでお互いの気持ちが通じるということが分かりました。彼から教わったオーストラリアのことを、実際に自分の目で確かめてみたいと強く感じるようになりました。オーストラリアに行ったら、昨年より上達した英語を使って、向こうの文化に触れ、たくさんの友だちをつくりたいと考えています。スポーツをしたり、ロブスターをおなかいっぱい食べてみたいですね。また、ぼくの趣味のひとつである将棋をオーストラリアに広めてきたいとも思っています。

手に体験学習をします。そして、マンリー市では、7月に小田原を訪れたオーストラリア青少年の家庭にホームステイしながら、一緒に学校の授業を受けたり、キャンプに参加したりします。盛りだく

さんのプログラムを通し、永遠の友情と、広い視野、そしてかけがえない思い出をつくってくださりましょう。
▼問い合わせ 文化交流課 ☎ 331-707

きらめきシンドバッド

1期生・2期生大集合!

「にっぽん丸」 小田原に接近!

今年も「少年少女オーシャンクルーズ・きらめきシンドバッド」を8月23日、24日、25日の2泊3日で行います。3期生を乗せた「にっぽん丸」(21903t)が8月23日(金)の午後3時ごろ小田原沖に近づきます。そこで、海と陸からエールを送り、3期生を見送り



ます。
シンドバッドの1期生・2期生の皆さんの熱い声援を3期生に送りましょう。
参加希望者は、少年少女オーシャンクルーズ事務局(青少年課)まで、ご連絡ください。
■見送り

◇海上コース
漁船5隻に乗り、海からエールを送ります。
約100人・先着順
◇陸上コース
御幸の浜で、楽しいゲームをしながら、陸から旗や手鏡でエールを送ります。

■申込期限 8月15日(木)
▼申し込み 少年少女オーシャンクルーズ事務局(青少年課内)
☎331723
※天候の状況により、船が接近できない場合があります。

うめっ子通信

私たちの住む早川

早川小学校6年

夏苺綾奈



みかんの山と港のある海、そして鮎釣りのできる川に恵まれて、私たちの住む早川。1年中、自

然を楽しめる所です。春は桜、山には野いちご、たんぼぼ。夏は港で花火、灯ろう流し。秋は、山から吹いてくる風のみかんの香りがします。

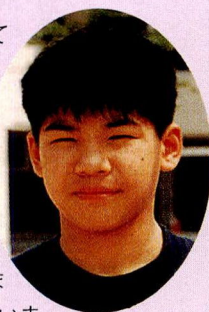
この環境の中、早川では毎年3回、「早川クリーン大作戦」が行われています。早川に落ちているごみを、地域の人たちで拾っています。この早川クリーン大作戦は、1年生からおとなまで参加できます。私は、ごみがなくなっただけでいいと、できるだけ参加しています。このほかに、私は老人ホームの窓ふきをボランティアで数回やり



ました。おじいさん・おばあさんは、とても喜んでいました。その顔を見ると、「ああ、やってよかったな」といつも思います。
これからも、早川の自然と環境を早川の私たちが守っていきたいと思います。

きらめきシンドバッド2期生

おぐまつばさ
小熊翼さん(中里在住)



2泊3日の初めての船旅。小田原を海から見ると、自然が豊かで、とてもきれいだと思いました。しかし、瀬戸内海は、小田原以上に自然に囲まれていて海は澄んでいました。小田原の海も、東京などに比べるとまだきれいだけれども、もっとみんなが気をつければごみも少なくなり、美しくなるのではないかと思います。

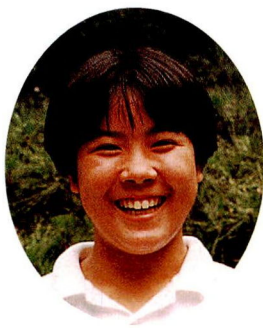
印象に残っていることは、船上運動会のバケツリレーや船内探検。新しい友だちと仲良くなったのも大きな収穫でした。また、阪神・淡路大震災で倒れたビルなどの姿を海上から見て、改めて地震の怖さを感じました。

小田原沖に戻ってきたとき、1期生や家族の出迎えがとてうれしかったです。今年は、3期生を小田原で見送りたいと思います。ぜひ、たくさんの友だちをつくってきてくださいね。

私の身近な人と自然

苺子小学校6年

大木佐登未



私が通う苺子小学校は、市役所のそばにあります。

私の学校では、いろいろな人と友だちになるようにと、きょうだい学級というのがあります。

6年生と1年生、5年生と3年生、4年生と2年生というグループに分かれていて、6月29日には、

オリエンテーリングも行いました。豆つまみ、ゴリラたたきなどいろいろなゲームを行い、みんな楽しそうでした。
近くには、めだかの学校があります。このめだかの学校には、めだかがいて、めだかの学校の曲が流れる小屋(休けい所)もあります。この学校のすぐ横を流れる荻窪用水は、川ぞいが見えるくらいきれいな水です。

きれいな水といえば、辻村植物公園でほたるを見ることが出来ます。私は、毎年、見に行っています。今年は、去年よりもたくさん見ることができました。
めだかの学校や辻村植物公園など、近くの自然を大切にしていきたいと思っています。

文藝雑記(一期一会) 4
小田原文学館顧問・歌人 鈴木貫介

『寸言』

この道を泣きつつわれの行きしこと
わが忘れなばたれか知るらむ

読者不知

小田原町(昭和十四年) 早川口下
河原二四番地の三好達治の家では、
いろいろな人びとにお會ひした。映
画監督吉村公三郎氏の令兄吉村正一
郎(故人)は、詩人の舊制三高の友
人て當時大阪朝日の主筆であられ
た。何度かお眼にかかつてゐるうち
にすつかり仲良しになつてしまつ
た。詩人に仕へた老女ハツ(故人)
さんは、のちに吉村正一郎の奈良の
寓居(正倉院塔頭)に移つて其處か
ら美味しい漬物を送つてくれた。ハ
ツさんは品のいい綺麗で上等なひと
だった。三好龍紳氏は詩人の令弟、

達治の歿後、急速に手紙のやりとり
があつて、龍紳氏からは小田原の家
で兩三度會つてゐることを告げられ
て、私は恐縮して迂闊のほどを詫び
た。三好達治は郷關大阪府高槻の令
弟の寺領に龍紳一族に守られて眠つ
てゐる。さて、龍紳氏は二、三年前
から高槻の本澄寺を御子息に任せ
て、唯今は京都の本山本満寺といふ
のに年の大半を過ごされてゐる。こ
の本山の所在地を次に記すことか
ら、小文の主旨を明らかにしたい。

「京都市上京區寺町通今出川上ル二
丁目鶴山町十六」以上。私は年賀狀

の準備にとりかかるとこの一葉をひ
きぬいていちばんおしまひにこの寺
院の宛名を丁寧(ていねい)に書いてゐた。どん
なに工夫してしたためてもこの名利
の宛名は葉書の表いつばいにどうや
らやつと收まつてゐた。私は、拙稿
で餘計なことを言ふのではありませ
ん。曾て町の行政上、ただただ簡便
をモットーにして無造作に、無神経
に、無情緒に、ひつくるめて大層亂

暴な仕業で古來の町名が抹消された
ことを言ふ。さかのぼつて當時の町
民と就中有識者にこれを諮問する。こ
とがあつたのだらうか。先年、某紙
の俳句欄に「青物町大工町をあるい
てお濠に出る」といふだけの簡素な
句がひとつ選者の心をとらへて佳作
の部に推薦されてゐるのを知つた。こ
の十七文字で結構古い町並と古城趾
の梯が充分想像されるいい作になつ
てゐたのを覚えてゐる。作者は女性。
京都の伽藍の所在地は少しく長つた
らしい節もあります。この半分は
どの文字をゆつくりと丁寧に書いて
みる精神の餘裕を喪失しては困りま
す。困るとおもふ。古都の歴史の中
に埋没して大路小路の名稱がたとへ
簡明なものでなくても、これを粗雑
なところで亂暴な改革には決して手
を染めることのない西京に思ひを寄
せて私はこののちも本満寺への長い
宛名を書きつぐことでありませう。

おしまひになりました。標記の一首
の短歌はこころある人びとの著作の
扉に引用されて感銘ふかい愛誦歌に
なつてゐます。これを自著に飾る凡
の著者は作者を承知してゐて「読者



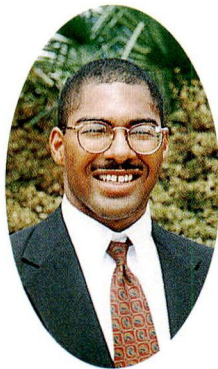
「不知」としてゐるのが、ゆかしく心
憎い。私は、この歌の作者と三好達
治の家で會つた。ある年の七月の
午前の爽涼な時間に詩人はまだ白い
麻帳帳の中に居て、來訪者と私はそ
の外側から話を交した。六疊いっぱ
いに吊られた蚊帳のひと隅をハツさ
んが脊伸して取り外してくれた。客
の御仁は色白で瘠身で女性的に清潔
な感じがした。

「小田原の女學生はいろが黒いです
ね」と言はれた一語だけ正確に脳裏
に刻みつけられてゐて忘れない。そ
して蚊帳の中で詩人がひそかに苦笑
したのも忘れない。三好達治もこの
地に住んで二年たち、少女たちも私
も皆潮氣を充分に吸収した擧句、黄
金色に健康な肌になつてゐたのであ
る。一首の作者は、田中吉巳、「四季」
《唄辰雄編輯》同人のすぐれた詩人
で、現成城大學名譽教授。

ワンダーランド
物価を下げるための
行動を

外国語指導助手

ダニエル・ウオーカー



「日本は物価が高すぎる」と皆
さんが聞いていることは十分知って
います。日本に来る外国人の最も
共通する不満は、日本の物価が余
りにも高いことです。日本の人は

これを聞いて、たぶんこう思うで
しょう「知らないけども思つてい
るの? 私たちはここに住んでい
るんですよ」と。しかし、こう思
う人には悪いですが、日本はいか
にも物価が高いと言わざるを得ま
せん。

それに慣れるべきですが、以前、
具合が悪くなり薬を買うことにし
ました。びん入りの錠剤で風邪に
きくと思いました。すると、レジ

で1699円と言われ、驚きまし
たが買いました。しかし、悪いこ
とに、おいのきついその薬はき
かなかつたのです。

日本人は立ち上がるべきです。
住専など小さな問題です。1リッ
トルのジュースに330円、映画
に1700円払うために、皆さん
は長時間として一生懸命働いてい
ます。大蔵省でなく通産省にデモ
するべきです。物価を低くする手

立てがなされるまで、通産省に人
の出入りを阻み、それでも効き目
がなければ、国会を封鎖する。信
じてください。効果あります。

(「GODZILLA」から抜粋)

「GODZILLA」: 外国語指導
助手によって編集・発行されている
英・和文の機関誌です。

▼問い合わせ 学校教育課 3316
84



小田原市では、市内の緑をどうやって守っていますか。また、どうやって緑を増やしていきますか。(10歳・男)

お答え
 緑は、空気をきれいにしたり、

こんにちは市長さん 市民の声の直通便

気温を下げたりするなど、人間をはじめ、あらゆる生きものがいきいていくために重要な役割を果たしています。そこで、市では神社やお寺などにある大きな木で、まちな環境にとって良いものを、保存樹、保存樹林という制度で守っています。また、市内には、自然のまま残っている森林や水辺、歴史的に意味のある神社やお寺と一帯となつて緑が残っている地域を「緑の環境保全地区」として指定し、守つていこうと、現在、調査を進めています。

しかし、私たちの生活に必要な道路や建物を作るときには、結果として緑を少なくさせてしまうこともあります。そのため、どうしても人間の手で植えた緑、公園も必要となつてきます。現在は、「辻村植物公園」と「いこいの森」の間に、自然を利用した「子供のもり公園」を造るよう進めています。

これからも、すべての生き物が住みやすい環境づくりをめざして努力していきます。

▼問い合わせ 環境保全課 ☎ 331481

まちづくりに対する皆さんのご意見やご提案をお聴かせください。専用のはがきは市役所、支所・連絡所、図書館、中央公民館、保健センター、マロニエ、市内の郵便局の各窓口においてあります。ご利用ください。

▼問い合わせ 広報広聴課 ☎ 331263

市民工房編集室



お久しぶりです、皆さん。2か月ぶりに「市民工房編集室」のコーナーがやってきました。なんだそれは一体? と思った方へちょっと説明すると、このコーナーは「広報おだわら」の6月1日号から始まった新コーナーで、私たち「まちづくり市民工房21」の活動を紹介するとともに、この「広報おだわら」に市民が編集するページをつくろうというもの。今回は、ちょうちん夏まつりのときに、市民工房が作った「ちょうちん山車」のことなどを中心にお伝えしようと思います。

そもそも「ちょうちん山車」は、ちょうちん夏まつりに合わせて青森や秋田のほうからねぶたを呼んでこようか、という話だったんです。だけどそれじゃお金もかかるし、何よりその土地の文化を借りてくるだけになってしまうので、いっそのこと自分たちで作ってしまおうということになり、6月ごろから作り始めたんです。しかし、市民工房のメンバーには、ねぶたのような

ものを作ったことのある人はいなかったので大変でした。市民工房以外の人たちにも手伝っていただきました。山車の台車を作ってくれたり、大きな浮世絵の下絵を描いてくれたりと、作り始めたら小田原にもいろいろなことに取り組んでいる人たちがいて、皆さんそれぞれのやり方で小田原の文化に貢献しているのが分かりました。そういった方たちの協力でなんとか「ちょうちん山車」が完成しました。だからこの場を借りて、皆さんにお礼を言いたいと思います。どうもありがとう。

「スポーツ・フィッシング・フェスティバル」はみなとまつりに合わせて企画したもので、港を網でふさいで大きな釣り堀に

し、そこでルアーフィッシング大会をやつてしまおうというもの。参加申し込みはもう締め切りましたが、当日は釣り場の環境問題に関する展示などいろいろな企画があるので、どうぞ見に来てください。

それから、この「広報おだわら」に市民が編集するページを作る企画は、スポーツ・フィッシング・フェスティバルが終わったら本格的にやっつていこうと考えています。そのときは、市民工房以外の人たちにも参加してもらおうと思っていますので、どうぞよろしく。(田嶋崇之)

◆連絡先 まちづくり市民工房21実行委員会
 佐久間 ☎ 32-4566



ちょうちん山車の製作風景

学習文化スポーツガイド 「自分時間手帖」の発行



皆さんの生涯学習活動を支援する情報誌「自分時間手帖」の96年度版を発行しました。各種教室・講座やサークル紹介、イベントやいろいろな施設の情報満載。

講座・教室情報

気楽に受講できる一般教養から専門的なものまで、たくさん教室・講座を分野別に分けました。

祭り・イベント情報

「何かおもしろいことやってないかな」という方におすすめ。団体・サークル情報

市内で意欲的に活動している団体・サークルを紹介しています。自分の目的にあったサークル探しに役立ててください。

施設紹介

「活動したいが場所がない」という方のために、市の施設を紹介しています。ぜひ、ご利用ください。

▼問い合わせ 社会教育課 ☎331 712

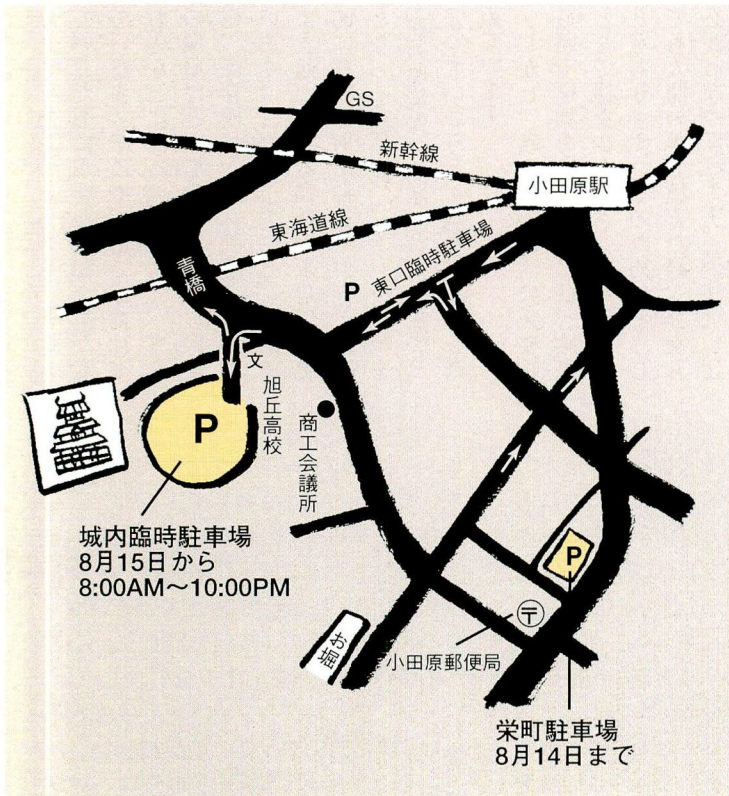
栄町駐車が建て替え 8月15日からは臨時駐車をください

新駐車場の建設のため、栄町駐車場は8月14日(水)午後7時で閉鎖します。当分の間臨時駐車をご利用ください。

代替駐車場となる旧城内スポーツレクリエーション広場の臨時駐車場は、8月15日(木)午前8時から利用できます。収容台数は約360台、駐車料金は最初の1時間300円、以降30分につき100円です。営業時間は午前8時から午後10時までです。なお、この駐車場への進入路は、お城通り・旭丘高校前(青橋方面からは右折して入れません)からのみです。退出路は、青橋側に左折のみですので、ご注意ください。(下図参照)

67

▼問い合わせ 都市総務課 ☎3312



施設めぐり

ふれてみよう小田原の歴史と文化

松永記念館(郷土文化館分館)



あった、野崎広太氏の茶室「葉雨庵」を南町から移築復元してあります。趣のある茶室でお茶をたてたり、風情のある庭園を散策してみたいいかがですか。

開館時間 午前9時～午後5時(入館は午後4時まで)

休館日 毎週月曜日・月末日

入館料 無料(和室・茶室などを利用する場合は有料です)

交通

箱根登山鉄道・箱根板橋駅下車 徒歩10分

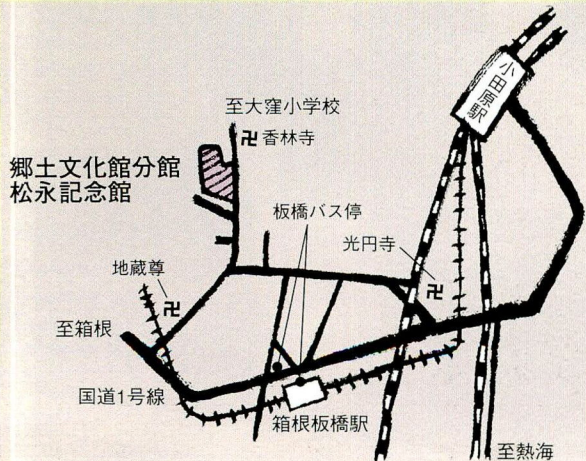
小田原駅より箱根方面行きバス 橋下車徒歩10分

▼問い合わせ 郷土文化館 ☎231 377

板橋にある松永記念館は、実業家・茶人として知られた、松永安左工門氏が、昭和34年に財団法人松永記念館として自宅の庭に建てたものです。その後、昭和54年に、その敷地と建物が市に寄付され、郷土文化館分館として開館しました。

1階展示室では、秋に特別展を開いており、現在、常設展として、こより絵による東海道五十三次展を行っています。2階にある和室は、会合・茶会などに利用できます。また、別館展示室(平成4年開館)では、作家の中河与一氏から寄贈されたコレクションを公開しています。

そのほか、庭園には、戦前実業界で活躍し茶人でも



おだわら・くらしのテレフォンガイドを 利用していますか？

音声情報 & ファックス情報

テレフォンガイドは24時間いつでも情報が受け取れるサービスです。音声情報とファックス情報サービスがあります。平成2年8月のスタートから、もうすぐ6年。市役所から発信する各種情報や、施設案内、歴史ガイドなど、メニューの総数は300を超えています。

緊急時や生活情報が人気

今年の1月から6月の半年間のアクセス数は、音声サービスが2695回、ファックスサービスが985回ありました。

年間を通じて安定して利用されるサービスは、「休日・夜間急患診療所」(☎110)。これは保健センターで行われている休日・夜間診療の診察科目、受付時間、保健センターの電話番号、住所のサービスを提供しています。ファックスサービス(☎110)では、地図も提供しています。

他にも利用が多いものは、「ごみの出し方」(☎300)や「燃えない

「ごみの収集日」(川東地区☎302、川西地区☎303)など生活に密着したもの、小澤市長が毎月自ら録音する「市長の声」(☎800)、「梅まつり・梅の里散歩」(☎919)などの観光案内です。この半年間のベストテンには入っていませんが、「めだかの学校」(☎943)などの小田原の歌も好評です。

他にも、小田原の特色を生かした情報がたくさんあります。皆さまのご利用をお待ちしています。

○利用方法は？(電話・ファックス共通)

- ①コード表で聞きたい情報のコード番号を確認してください
- ②☎331266に電話する

(ご利用案内にテープが流れます。この時音声で情報を聞くか、ファックスで読むかを選択してください)

③3桁のコード番号をプッシュ(ダイヤル)する

④ご希望の項目またはファックス受信開始

○主な内容

- ・暮らしの手続き(市役所への届け出や手続きの方法)
- ・いざというときに備えて(休日、夜間診療等)
- ・イベント情報(今月、来月の催

し物)
・小田原ガイド(施設の利用案内や観光・歴史情報)

※「くらしのテレフォンガイド」は、市役所、支所/連絡所においてあります。

※サービスコード一覧表(☎990)をファックスサービスでも提供しています。ご利用ください。

※ファックスをお持ちでない方はお近くの支所・連絡所でファックスサービスをご利用になれます。

はじめの1項目：30円。その後、1項目増えるごとに20円追加。1回に5項目まで利用できます。

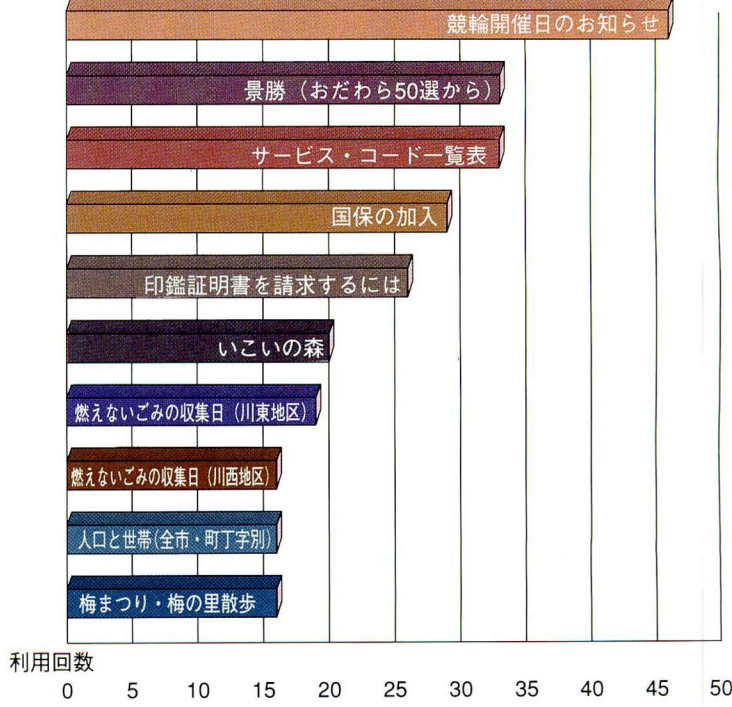
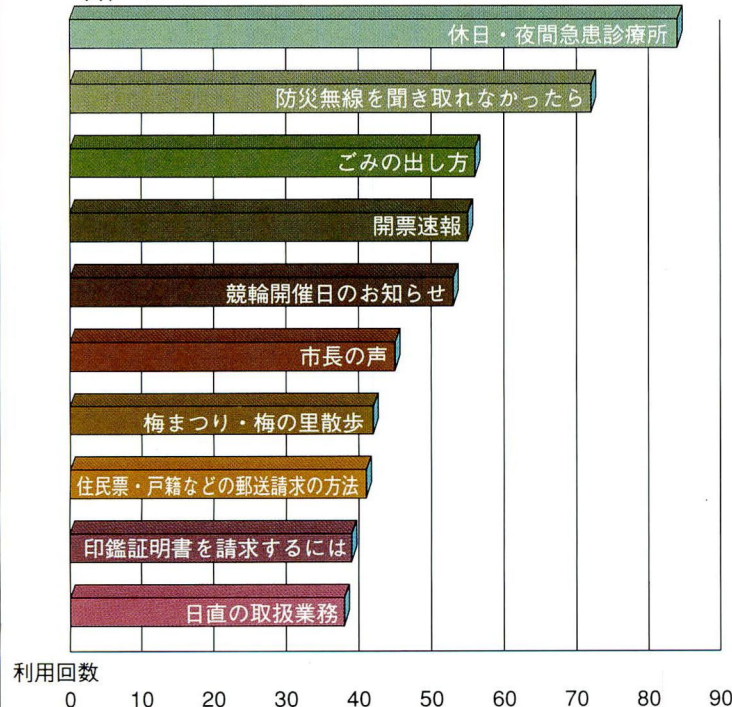
▼問い合わせ 広報広聴課 ☎331264



平成8年1月～6月の利用ベストテン

音声サービス

ファックスサービス



8月は道路を守る月間

ルールを守ってー

「道」は、大切な公共施設です。勝手に道路上に商品などを置いたり、不法駐車をすると、交通事故や混雑の原因になるだけでなく、緊急車両の通行の妨げになりますので絶対にやめましょう。

▶問い合わせ 道路補修課 ☎ 33-1641

計量器(はかり)の定期検査

今年度は、2年に1回の計量器の定期検査の年です。検査対象となる計量器は、次のとおりです。なお、検査を受けずに取引や証明に引き続き使用すると計量法により処せられる場合があります。

新しく計量器を購入するなど、検査対象となる計量器をお持ちで市からの通知のない方も、もよりの検査会場で必ず受検してください。

検査日程 8月28日(水)～9月20日(金)の内16日間

場所 中央公民館・水道局・農協(5支店・1集出荷場)など12か所。なお、検査日により実施場所が異なりますので詳しくはお問い合わせください

検査対象

- 商店・露店・行商などで売買に使う計量器
 - 病院・薬局などで使う調剤用の計量器
 - 病院・学校・保育園・幼稚園などで使う身体検査用の計量器(体重計)
 - 運送業者などが貨物の運賃の算出に使う計量器
 - 農業・漁業などに従事する方が農産物・水産物の売買・出荷に使う計量器
 - 工場・事業場などで原材料の購入・製品の販売・出荷のために使う計量器など
- ※計量士の検査などを受けている場合は、

「広報おだわら」に巻頭特集ページが

8月1日号の「広報おだわら」が、いつもより8ページ増えて24ページになったのにお気づきですか。

昨年まで、小田原が直面する問題を皆さんと考える情報誌「きらら」を発行し、市の公共施設や郵便局などでお配りしていました。今年からは、さらに多くの皆さんに読んで考えていただくことと、広報誌のなかで特集することにしました。今回のテーマは、新しい総合計画。これから3回程度、いろいろな情報や政策をお知らせします。

広報広聴課 ☎ 33-1261

今回の検査対象にはなりません
手数料 器種により異なりますが、小型で
1台500円～3,000円程度

▶問い合わせ 商工課 ☎ 33-1511

国民年金証書の提出を

老齢福祉年金を受けている(現在85歳以上の方で年3回郵便局で受けている)方は、8月期(8月9日支給開始)の支払いを郵便局で受けてから、国民年金証書(緑色の手帳)を市役所へ提出してください。

提出方法 市役所からお送りした回収用封筒に「国民年金証書」と「預かり証の控え」を一緒に入れて8月30日(金)までに郵送してください

※提出を忘れていたり、遅れたりすると、次の年金の支払いが受けられなくなる場合がありますのでご注意ください。提出された国民年金証書は、10月中旬に簡易書留で返送します

▶問い合わせ 保険年金課 ☎ 33-1870

危ない! 食中毒!

この時期は、県内でも0157が発生するなど、食中毒が多発します。特に子どもや高齢者の方がいるご家庭は、ご注意ください。

食中毒を防ぐには

- まな板、ふきん、調理器具はよく洗って消毒を
- しっかり手洗いを
- 温度管理をしっかりと
- 焼く、煮るなど加熱を十分に
- 5℃前後で冷蔵保存
- すぐに食べる
- 調理は手際よく
- 調理した食品は早めに食べる

▶問い合わせ 小田原保健所食品衛生課 ☎ 22-3135

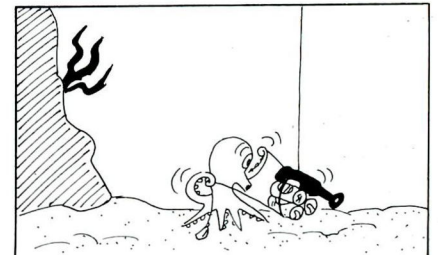
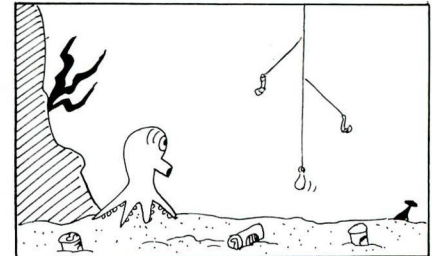
寿町ふれあい広場のご利用を花火の夜は特別開放

緑に囲まれた芝生の広場を午前8時30分から午後5時まで無料開放しています(年中無休)。ご利用ください。小田原花火大会が行われる8月8日(木)は、夜間も開放します。夏の夜空を彩る花火をお楽しみください。

場所 下水道管理センター(寿町5-23-30)

※車でのご来場はご遠慮ください

▶問い合わせ 下水道管理センター ☎ 34-8145



市民相談

AUGUST
8月

①一般相談	休日を除く毎日 午前9時～午後4時
②法律相談(予約制)	7日(水)・14日(水) 21日(水)・28日(水)
③登記相談	8日(木)
④税務相談	20日(火)
⑤宅地建物取引相談	22日(木)
⑥防災相談	19日(月)
※②～⑥の時間は午後1時30分～3時30分	
⑦心配ごと相談	12日(月)・26日(月)
※時間は午前10時～午後3時	
⑧人権擁護相談	13日(火)・27日(火)
※時間は午後1時～3時	
⑨行政苦情相談	15日(木)
※時間は午後1時～4時	
⑩教育相談	2日(金)・16日(金)
⑪消費生活相談	2日(金)・9日(金)・16日(金)・ 23日(金)
※⑩⑪の時間は午前9時～午後4時	

問い合わせ
市民相談室

☎33-1383

お知らせ

久野霊園行き
直通臨時バスの運行

[8月13日(火)]

発車場所・時刻 ①行き 小田原駅西口
発・午前9時～午後3時の30分間隔

②帰り 久野霊園発 午前9時30分～午後3時30分の30分間隔

乗車料金(片道) 大人500円、小人300円
※行き・帰りとも正午発は運休。久野霊園降車時には、最終の小田原駅行を確認してください

▶問い合わせ 伊豆箱根鉄道(株)バス小田原駅前案内所 ☎ 22-3166

マロニエに
1日特設相談所

行政に対する苦情や相談、名誉き損やプライバシーの侵害、家庭や地域で困ったこと、また相続や遺言などの相談に専門の相談員が無料でお答えします。

日時 8月20日(火)午後1時30分～3時30分
場所 マロニエ

▶問い合わせ 市民相談室 ☎ 33-1383

介護の相談は
在宅介護支援センターへ

在宅の寝たきりのお年寄りや、痴ほうのあるお年寄りの介護者からの各種相談に24時間対応しています。また、ご家庭を訪問しての介護指導・助言や介護機器の展示・使用方法の説明、市の在宅老人福祉サービスの案内や申請代行も行っています。お気軽にお電話ください。

▶問い合わせ

- ・西湘老人ホーム (早川853 ☎ 24-1181)
- ・ルビーホーム (曾我光海2-1 ☎ 42-1278)
- ・潤生園 (穴部377 ☎ 35-9500)

恩給欠格者などに書状を贈呈

平和記念事業特別基金では恩給欠格者に書状などをお贈りしています。平成8年度から外地などの勤務経験がなく、加算年を含めた在職年が3年以上ある方にも内閣総理大臣の書状が贈られることになりました。

また、引揚者に対する書状贈呈の請求期限が平成11年3月31日までに延長されました。

た。

請求書は、福祉総務課(市役所2階窓口15番 ☎ 33-1861)で配布しています。

▶問い合わせ 恩給欠格者書状等贈呈事業業務第一課 ☎ 03-3945-4704 引揚者書状贈呈事業業務第二課 ☎ 03-3945-4703

8月15日には黙とうを

8月15日は、戦没者を追悼し平和を祈念する日です。先の大戦では、およそ300万人という多くの方が犠牲になりました。政府は、今年も日本武道館で平和への決意を新たに全国戦没者追悼式を開きます。

市民の皆さんには、この式典の趣旨を理解され、戦没者の方々への追悼の意を表すとともに、これからの平和を祈念して、当日の正午を合図に1分間の黙とうをささげられますようお願いいたします。

▶問い合わせ 福祉総務課 ☎ 33-1861

戦没者慰霊品の受け取りを

毎年、戦没者の遺族の方に県から遺族会を通じて慰霊品(緑茶)が贈られています。住所変更などでまだ受け取っていない方は、福祉総務課(市役所2階窓口15番)または遺族会事務局(社会福祉センター内)までお越しください。

▶問い合わせ 福祉総務課 ☎ 33-1861

遺族会事務局 ☎ 35-4000

新入札・契約制度について

制限付一般競争入札、工事希望型指名競争入札と業者別の格付等級を閲覧できます。

■制限付一般競争入札 市役所前掲示場・マロニエ前掲示場・管財契約課・入札控室・建設関係新聞・行政情報センターで公告の写しを購入できます。

■工事希望型指名競争入札 管財契約課・入札控室・建設関係新聞

■業者別の格付等級 行政情報センター

▶問い合わせ 管財契約課 ☎ 33-1325

働く人の
メンタルヘルス相談

働くことへの不安、職場での仕事の悩みなどがあつたら、気軽にご相談ください。専門の医師、カウンセラーが相談に応じます(予約制)。

期日

- ①横浜労働センター 毎週火曜日と木曜日
- ②厚木労働センター 毎月第2・4金曜日

時間 午後1時30分～4時30分

相談料 無料

▶申し込み 横浜労働センター ☎ 045-312-1121または厚木労働センター ☎ 0462-23-6211

節水にご協力ください

今年は例年に比べ、梅雨時期に雨があまり降りませんでした。

これから、日増しに暑くなり、水をたくさん使う機会がますます増えてきます。

水は限りのある貴重な資源です。

水はむだをせずに、大切に使いましょう。

▶問い合わせ 水道局営業課 ☎ 41-1202

窓口コーナーを
ご利用ください

小田原駅前窓口コーナーと国府津駅前窓口コーナーでは、金曜日までに電話で予約すれば土曜日でも、証明書などを受け取れます。また、小田原駅前の生涯学習コーナーと国府津駅前の生涯学習室は、年末年始を除いて、いつでも利用できます。予約状況を確認のうえ、ご利用ください。

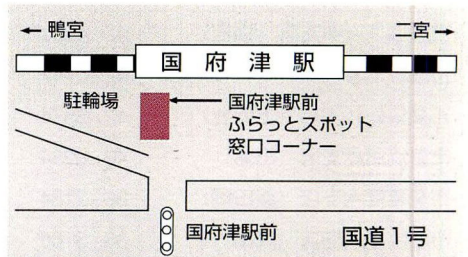
開設日と時間

■小田原駅前窓口コーナー (☎ 24-3731)

■国府津駅前窓口コーナー (☎ 47-2133)

月～金曜日 午前7時30分～午後7時
土曜日 午前8時30分～正午

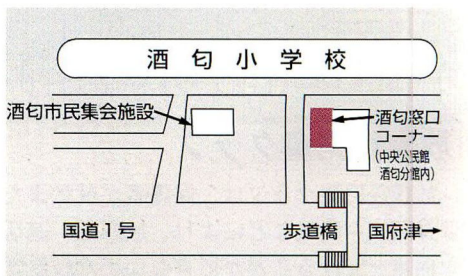
なお平日の午前7時30分～8時30分、午後5時～7時と土曜日は予約分の証明書の受け取りと予約の申し込みのみです。



■酒匂窓口コーナー (☎ 47-8575)

月～金曜日 午前8時30分～午後5時

▶問い合わせ 戸籍住民課 ☎ 33-1381 生涯学習コーナーなどについては社会教育課 ☎ 33-1720



生ごみ処理器・コンポスト

生ごみ処理器とは、底がいて土に接する形のポリエチレン製容器で、この中に生ごみを入れておくと地中のバクテリアの作用で発酵分解され、数か月でたい肥化されます。市は、指定店で生ごみ処理器を購入する場合、購入費の一部を補助しています。

購入方法 別表の店舗で補助対象の生ごみ処理器を選んでください。購入の際には、補助金交付の申請をしていただきますので、身分証明をお持ちください。品物は、補助金交付決定後、ご自宅まで配達します

補助金額 1基につき3,000円。通常価格との差額を負担していただきます

補助基数 1世帯につき2基分まで

▶問い合わせ 環境総務課 ☎ 33-1472

■生ごみ処理器設置費補助制度取扱店一覧

店名	電話番号
市農協本店（鴨宮）	47-8125
市農協足柄支店（扇町）	35-3518
市農協大窪支店（風祭）	24-2318
市農協荻窪支店（荻窪）	34-2760
市農協上府中支店（千代）	42-1007
市農協久野支店（久野）	34-5363
市農協下中支店（中村原）	43-0311
市農協前羽支店（前川）	43-0258
市農協片浦支店（根府川）	29-0011
市農協国府津支店（国府津）	47-4178
市農協桜井支店（曾比）	36-0306
市農協酒匂支店（酒匂）	48-7881
市農協山王一色支店（東町）	34-9565
市農協下府中支店（鴨宮）	47-4831
市農協下曾我支店（曾我別所）	42-0747
市農協曾我支店（上曾我）	42-3574
市農協田島支店（田島）	42-0254
市農協富水支店（飯田岡）	36-2184
市農協豊川支店（成田）	36-3166
市農協早川支店（早川）	22-3966
堀井肥料店（久野）	34-2887

お知らせ

市・官公庁からのお知らせ

放課後児童クラブ

放課後児童クラブは、保護者が就労または長期的な病気などにより、放課後、適切な保護を受けることができない小学校低学

年児童の健全な育成を目的としています。現在2つの形態で11か所開設しています。

①市直営方式

開設場所 芦子小学校

実施日・時間 学校給食実施日 午後1時～4時30分

対象児童 1～3年生

②地域運営委員会方式

開設場所 小学校＝三の丸・山王・富水・町田・下府中・桜井・上府中・酒匂・東富水 幼稚園＝下中幼稚園

日時 月～土曜日 放課後～午後6時、長期休業日や5日制の土曜日 午前9時～午後6時

休所日 国民の祝日、12月29日～1月3日 ほか

対象児童 1～3年生

▶問い合わせ 青少年課 ☎ 33-1723

公文書公開制度

市は開かれた市政を進めるため公文書公開制度と個人情報保護制度を実施しています。平成7年度の運用状況は次のとおりです。

■個人情報取扱事務の登録件数

実施機関	件数
市長	376
教育委員会	137
選挙管理委員会	5
公平委員会	1
監査委員	1
農業委員会	4
固定資産評価審査委員会	1
議会	5
合計	530

■実施機関別利用状況

実施機関	公文書公開制度		個人情報保護制度	
	公開請求	開示請求	公開請求	開示請求
市長	15件	3件		
教育委員会	29	2		
選挙監視委員会	0	0		
公平委員会	1	0		
監査委員	0	0		
農業委員会	1	0		
固定資産評価審査委員会	0	0		
議会	3	0		
合計	49	5		

■請求および申出についての処理状況

	公文書公開制度		個人情報保護制度	
	公開	一部公開	開示	一部開示
公開	22件		開示	3件
一部公開	27件		一部開示	1件
非公開	0件		不存在	1件
合計	49件		合計	5件

▶問い合わせ 行政情報センター ☎ 33-1288

正しく使って楽しい花火

夏休み、夜のひとときが楽しい花火の季節です。花火は、火災ややけどに注意し、ルールを守って楽しみましょう。

消防本部予防課 ☎ 49-4424

市民プラザ

市民の皆さんからの情報を掲載
問い合わせ 広報広聴課 ☎ 33-1261

アフリカ民族音楽の夕べ

南アフリカの音楽団体AZUMAHによる野外公演

日時 8月31日(土)午後6時～8時

場所 ダイドープラザ

NGOまつり

日時 8月29日(木)～31日(土)午前10時～午後8時

場所 イトーヨーカドー鴨宮店エントランスホール

内容 参加NGOによる展示・即売・実演、ビデオ放映、写真展、バンド演奏、小田原ばやし演奏など

▶問い合わせ 大曾根 ☎ 43-1338

バトントワリング 夏期講習会

バトントワリングの基本動作から簡単な振り付けまで年齢別に指導。

日時 8月30日(金)午前9時30分～午後3時

場所 町田小学校体育館

対象・定員 小学生以上・30人・先着順
参加料 600円（テキスト代・スポーツ保険料含む）

持ち物 上ばき、タオル、昼食、水筒、筆記用具、バトン（お持ちでない方はお貸しします）

申し込み 8月5日(月)からバトンチーム
チェリーズ ☎ 22-3398

第3回サカワ

ホットジャムコンサート

バンド音楽と酒匂ビーチのクリーンアップ。受け止めてください！ 自然を大切にす心。

日時 8月18日(日)（小雨決行）

・海岸清掃 午前8時30分～

・ライブコンサート 午前11時～午後6時

場所 酒匂川河口左岸

入場料 無料

▶問い合わせ もろこしの会・島田 ☎ 36-9900

講座

海の料理教室

朝、小田原漁港に水揚げされた新鮮な魚を使った、おいしい料理の作り方・食べ方教室を開きます。漁協婦人部の方が講師です。親子でご参加ください。

日時・8月27日(火)午前10時～午後2時
場所 海業センター (JR早川駅下車・徒歩3分)

対象・定員 市内の小学4年生～中学3年生とその保護者 先着15組30人
持ち物 包丁(出刃)、エプロン、弁当(ごはん)、三角巾、タオル

参加料 1組1,000円(保険料込み)

▶申し込み 8月12日(月)午前8時30分から
電話で 小田原さかな普及の会(水産海浜課内) ☎ 22-9227

写真教室

日時 8月28日(水) 午前9時30分～正午

対象 小・中学生(親子での参加歓迎)

講師 山下勲さん(宮内庁嘱託カメラマン、日本写真協会会員)

▶申し込み 酒匂川水系保全協議会(環境保全課内) ☎ 33-1481

結果・表彰

各種大会の結果、表彰の紹介

日赤社員増強運動の結果

平成8年度は、総額2,401万9,718円の社資を集めることができました。お寄せいただいた社資は、災害救護活動、献血事業、医療事業などに使います。

▶問い合わせ 福祉総務課 ☎ 33-1863

優良納税貯蓄組合などを表彰

6月7日(金)、平成8年度の小田原市納税貯蓄組合連合会の通常総会が開かれ、その中で、優良納税貯蓄組合などの表彰が行われました。

(敬称略)

○市長表彰状

優良納税貯蓄組合：飯中、飯泉3区、永塚、青物町、第32区、石橋、早稲田、丹沢、小八幡5区、曾我岸第2

納税成績優良地区連合会：国府津地区連合会

○市長感謝状

個人功労者：鈕持八重子、三宅孝四郎、城所利治、青木光義、鈴木元子

永年在職組合長：城所利治(第9区)、渡邊勉(柳新田)

○連合会長表彰状

優良納税貯蓄組合：第69区、網一色、西組、第6区、中町34区、打越、国府津第16、仲町東組、55区5組、留場

納税成績優良地区連合会：曾我地区連合会

▶問い合わせ 収納課 ☎ 33-1341

防犯功労者表彰

5月16日(木)、県防犯協会連合会から、国原隆司さんが、防犯功労者として表彰されました。国原さんは民間防犯指導員(富水地区)として昭和61年から活躍され、防犯パトロールや自転車盗難防止活動など、地域住民の防犯意識の高揚に大きく貢献されています。

▶問い合わせ 地域づくり課 ☎ 33-1457

港の朝市 小田原漁港西側岸壁



8月4日(日)、10日(土)、17日(土)、
24日(土)、31日(土) 午前8時～
市漁協 ☎ 22-4475

税金・年金・補助金

納税、年金、各種手当について

今月の納税

個人市民税(第2期分)・県民税

納期限は9月2日(月)です。口座振替え払いの方は預金残高のご確認を。

▶問い合わせ 市民税課 ☎ 33-1351

児童手当・特例給付

児童手当(国民年金加入者・未加入者)・特例給付(厚生年金加入者)は、3歳未満の児童を養育している方に支給されます。請求のあった翌月分から支給対象となりますので早めに申し込んでください。

ただし、所得制限がありますので、平成7年中の収入が一定の額以上の方には支給されません。

申請手続き 受給資格のある方は、児童福祉課(市役所2階窓口12番)または支所・連絡所で申請手続きをしてください。公務員の場合は、直接勤務先で手続きをしてください

持ち物 印鑑・口座番号(申請者名義のもの・郵便局を除く)・年金加入証明(厚生年金・共済組合加入の方のみ)・転入者については所得証明書

■平成8年度児童手当と特例給付の所得限度額表

扶養親族数	自営(国民年金加入者・年金未加入者)	サラリーマン(厚生年金加入者)
	児童手当 所得額	特例給付 所得額
0人	149万6,000円	327万8,000円
1人	179万6,000円	357万8,000円
2人	209万6,000円	387万8,000円
3人	239万6,000円	417万8,000円
4人	269万6,000円	447万8,000円
5人	299万6,000円	477万8,000円

○児童手当・特例給付の月額

第1子・第2子 5,000円

第3子以降 10,000円

※退職された方は、受給資格がなくなる場合がありますので、必ずご連絡ください

▶問い合わせ 児童福祉課 ☎ 33-1453

夏は商店街もホットに



市内の商店街が、手作りイベントを開きます。

①下曾我商工振興会

「夏祭り納涼盆踊り大会」

日時 8月14日(水)午後6時～9時

場所 JR下曾我駅前広場

内容 盆踊り大会(駅前通りも歩行者天国になり、模擬店やイベントも多数あります)

②扇町商工振興会

「ワッショイ平成扇町地藏尊バザール」

日時 8月24日(土)午後4時～8時

場所 扇町足下地藏尊沿道

内容 足下地藏尊聖水の試飲、響太鼓、模擬店多数

▶問い合わせ 商工課 ☎ 33-1511

小さな親切運動 ポスターコンクール作品

「人に親切にする心」を表現した未発表のポスターを募集します。

対象 市内に在住・在学の小・中学生

応募方法 1人1点。4切りサイズ。市役所地域づくり課（5階・赤通路）に直接または郵送で

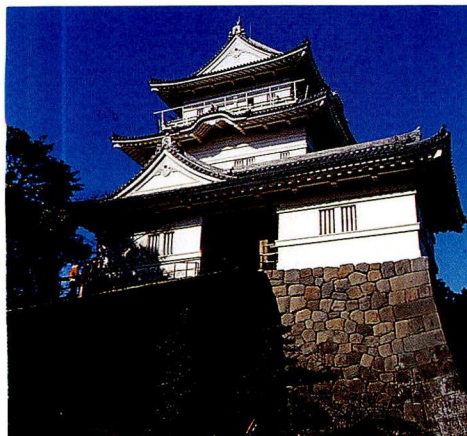
受付期間 9月10日(火)～13日(金)

※募集要項・出品申込書は、市内各学校、地域づくり課で配布中

▶申し込み 〒250小田原市荻窪300 小田原市役所地域づくり課 ☎ 33-1457

全国城郭ミニチュアモデル コンテスト

深い歴史と文化に恵まれた、小田原のシンボル「小田原城」。そしてもう一つ、豊臣秀吉が小田原合戦の際に一夜にして築いたといわれる「石垣山一夜城」があります。2つのお城はいずれも貴重な文化遺産です。



お城を通してもっと歴史のロマンを感じていただくため、市は、「全国城郭ミニチュアモデルコンテスト」を開きます。

募集内容 小田原城をはじめ、大阪城、姫路城など国内にあるお城（城郭）の模型。大きさ、素材などは自由。簡単に持ち運ぶことができ、展示に耐えられるもの

応募規定 完成作品を正面と真上から撮影したカラー写真2点（キャビネサイズ）と住所、氏名、年齢、職業、電話番号、作品の説明（城名、大きさ、素材、製作日数）を書いて郵送してください（第2次審査では作品を直接搬入もしくは郵送していただきます）

締め切り 9月20日(金)当日消印有効

賞金 グランプリ50万円、金賞10万円ほか
発表 1次審査、2次審査ともに結果は個人に通知します。入賞作品の展示発表と表彰式は10月20日(日)に開かれる「一夜城まつり」会場で行います

▶申し込み 〒250小田原市荻窪300 小田原市役所観光課 ☎ 33-1521

講座

生涯学習、各種セミナー、講習会など

高齢者体操教室

生きがいふれあいセンターいそしぎでは、60歳以上の市民を対象に高齢者体操教室を行っています。お気軽におでかけください。

日時 毎週月曜日 午後1時30分～3時
場所 いそしぎ体育室・トレーニングルーム

ム
内容 ストレッチ体操、ボール遊び、卓球など

※毎月第5月曜日と祝日に当たる月曜日は休みます

▶問い合わせ 高齢福祉課 ☎ 33-1841

普通救命講習会

消防本部では、救急の日にちなんで普通救命講習（心肺蘇生と大出血時の止血法）を行います。

日時 9月8日(日)午前9時～正午

場所 消防本部2階講堂（前川183-18）

対象・定員 市内在住・在勤の方 40人・先着順

※申込用紙はお近くの消防署でお受け取りください

締め切り 8月30日(金)

▶申し込み 消防本部警防課 ☎ 49-4422

園芸教室 菊の育て方・第1回

日当たりの良い場所ならどこでも作れる、手間のかからない福助苗で菊を作ってみませんか。

日時 ①8月18日(日) ②9月14日(土) ③10月20日(日)午後1時30分～

場所 フラワーガーデン

対象 全3回の教室に参加できる方

定員 30人・先着順

参加料 1,500円（材料費）

▶申し込み 8月5日(月)午前9時から直接または電話でフラワーガーデン ☎ 34-2814

いこいの森・林間キャンプ場予約状況

現在申込受付中です。

7月15日現在

日	曜日	状況	日	曜日	状況
9	金	○	20	火	○
10	土	△	21	水	○
11	日	○	22	木	○
12	月	○	23	金	○
13	火	○	24	土	×
14	水	○	25	日	△
15	木	○	26	月	○
16	金	○	27	火	○
17	土	×	28	水	○
18	日	○	29	木	○
19	月	○	30	金	○

○まだ、余裕があります △お早めにお申し込みください ×満員です

●250人までご利用いただけます

●テント使用料

	5人用	10人用
市民	900円	1,900円
市民以外	1,200円	2,400円
毛布	(1枚1泊) 100円	

●日帰りで、バーベキュー・林間運動広場・バードゴルフ場のみ利用される方も管理棟にて随時受け付けていますので、ぜひご利用ください。

●体験交流センターが7月20日にオープンしました。木工芸体験室と多目的ホールがあり、多目的ホールは、キャンプ期間中無料開放していますので、ぜひご利用ください。

▶申し込み いこいの森管理棟 ☎ 24-3785（月曜と祝日の翌日は休館）



募集

はがき絵コンクール作品

小田原市水道事業創設60周年を記念し、水道をテーマにした「はがき絵」を募集します。

内容 水道(水)をテーマにしたもの

応募資格 市内在住、在園、在学の幼稚園児、保育園児、小・中学生

表現方法 はがき大(10cm×14.8cm)の用紙または官製はがきに、鉛筆・サインペン・クレヨン・クレパス・水彩絵具・油彩絵具・ポスターカラーなどを使用し、デッサン・水彩画・油彩画・はり絵・版画・イラストなど自由に表現してください(写真は不可)

応募方法 1人1点。はがきの表に、住所、氏名、学校名(園名)、学年、電話番号を書いて郵送

締め切り 8月31日(土)必着

▶問い合わせ 〒250-02小田原市高田401 小田原市水道局営業課 ☎ 41-1202

県西地域広域公共施設見学会

県西地域広域市町村圏協議会は、バスで県西地域の公共施設見学会を行います。ぜひご参加ください。

期日・コース

①9月19日(木) 小田原駅西口→あしがら広域福祉センター→松田町子どもの館→丹沢湖ビジターセンター→開成水辺スポーツ公園→南足柄市リサイクルセンター→小田原駅西口

②10月17日(木) 小田原駅西口→真鶴町立中川一政美術館→湯河原町ごめの湯→大涌谷自然科学館→湿生花園→小田原駅西口

集合・解散 午前9時集合、午後4時30分ごろ解散、いずれも小田原駅西口

対象・定員 県西地域(2市8町)にお住まいの方、①②とも各30人・抽選

申込方法 往復はがきに、第1希望・第2



リサイクル情報

ご家庭に眠っている品を有効利用するのもリサイクル活動のひとつです。譲りたい品、譲り受けたい品の登録をください。市役所2階ロビーと小田原駅前ふらっとスポットに掲示しています。なお、物品のお預かりはしません。物品の引き渡しやトラブルなどは、当事者間で解決をください。

現在の情報

①譲ってください

温室(一坪)・琴・ビデオデッキ・三輪車・リュック式ベビーキャリア・A型ベビーカー・学習机・春夏用ママコート・自動車用チャイルドシート・ワープロ・幼児用

自転車・絵本・男児用衣類・玩具・石油ファンヒーター・クラリネット

②譲ります

ビデオムービーセット・レコード収納ケース・ガステーブル・湯沸し器・お宮参り用ベビードレス・猫用ケージ(2匹用)・藤の飾り棚・子供用ベッド・押入れ用収納家具・猫用トイレ・猫用のかご・自転車用チャイルドシート・シルバー編み機・マタニティーウェア・ベビーラック・双子用A型ベビーカー・マタニティドレス・ジュースサー・スーツケース・本棚キット・アンティーク風地球儀・ちりめんの着物地・セミダブルベッド・水槽・子供用いす付きテーブル・すべり台付きジャングルジム・和室用テーブル

▶申し込み 市民生活課 ☎ 33-1396

希望のコース番号、参加希望者(2人まで)の住所、氏名、年齢、電話番号、返信用に住所、氏名を書いてご応募ください

締め切り 8月30日(金)必着

▶申し込み 〒250小田原市荻窪300 小田原市役所広報広聴課 ☎ 33-1261



西湘音楽フェスティバル合唱参加者

楽聖シューベルト生誕200年を記念し、シューベルトの名曲を楽しむ音楽会を開きます。この機会に、オーケストラ(西湘音楽フェスティバル管弦楽団)と歌う合唱の楽しさを体験してみませんか。

○西湘音楽フェスティバル

日時 平成9年3月15日(土)

場所 市民会館大ホール

内容 劇音楽「ロザムンデ」から交響曲第8番「未完成」ほか

指揮 黒岩英臣

○参加者

資格 年齢・経験不問。どなたでも参加できます

参加費 6,000円

※他に入場券販売の負担があります

練習 第1回 8月25日(日)午後

※2回以降、毎月3回(水・日曜)。場所は、小田原市内の施設

▶問い合わせ 西湘音楽フェスティバル実行委員会事務局 井上楽器店 ☎ 24-0515

小田原市勤労者共済会会員

市勤労者共済会は、個々の事業所では実施が困難な、中小企業で働く皆さんの福利厚生事業を行う互助組織です。会員になれる方は、市内に主たる事業所がある従業員300人以下の中小企業で働く従業員と事業主です(事業主だけの入会はできません)。

この事業は、できるだけ多くの方に会員になっていただくことにより、より充実した事業を行うことができます。皆さんの加入をお待ちしています。

申込期間 8月30日(金)まで

▶申し込み 小田原市勤労者共済会事務局 市民生活課 ☎ 33-1854

平和作文・標語コンクール作品

戦争のない平和な社会が1日も早く全世界に訪れることを願い、小・中学校の児童・生徒の皆さんに平和の大切さを考えてもらおうと、作文と標語を募集します。平和について書かれた本の感想、家族と話したことなどテーマは自由です。

応募内容

①作文部門

・小学生の部 400字詰原稿用紙2枚以内
・中学生の部 400字詰原稿用紙3枚以内

②標語部門

・小学生・中学生とも1人3点以内

応募方法 各学校を通じて、9月4日(水)までに市役所行政総務課に提出

▶問い合わせ 行政総務課 ☎ 33-1291

女性カレッジ受講生

市の審議会やPTA、地域など、いろいろな場面でリーダーとして活躍する女性の人材を育てるため、女性カレッジを開きます。昨年度実施した第1期生は、23人中10人が市の審議会などに登用されました。「自分一人だけのことではなく、世の女性のためにもがんばってこうという元気がわいてきました」とか、「女性であることに甘えるのではなく、人間として責任を持って行動することの難しさ、大切さを改めて考えさせられました」と、先輩たちも熱いメッセージを寄せています。

今年はあなたがステップアップしてみませんか。

日時 9月5日～11月14日の毎週木曜日
(全10回) 午後1時30分～4時30分

場所 小田原市役所

主な内容

○「会議の進め方と自己表現方法」 改まった席で、自分の意見を的確に表現する実践的なトレーニング

○「行政施策について」 まちづくりの総合計画や市の財政事情、税金、議会のしくみ、環境対策など、市政を学習

○「社会の実態と課題」 各界学識経験者による講義

・『女性の視点で世界の動きを考える』
講師 (財)横浜女性協会理事・有馬真喜子さん

・『主婦と労働について』

講師 中央大学教授・植野妙実子さん

対象 市内在住、在勤、在学の女性で、全日程出席できる方

定員 30人・抽選。なお、聴講の希望も受け付けます(各10人)

参加料 無料

応募方法 電話または郵送で女性行政室まで(住所、氏名、年齢、電話番号)

託児 2歳以上就学前まで(予約制・定員5人)

締め切り 8月30日(金) 当日消印有効

▶問い合わせ 〒250小田原市荻窪300
小田原市役所女性行政室 ☎33-1725

身体障害者協力登山会

丹沢山塊『三ノ塔』登山会の参加者

期日 10月20日(日)小田原駅集合

目的地 丹沢山塊「三ノ塔」(秦野市)

身体障害者参加者

対象 小学生以上～85才未満(心臓病をお持ちでない方で車いすを利用しない方)

定員 56人

参加料 無料

協力ボランティア

対象 健康で軽いジョギングをできるぐらいの方

募集人員 280人

参加料 一般6,800円(23歳以下6,000円)

▶申し込み ベルククラブ事務局 ☎23-0416(午後6時以降)

技能功労者などを推薦してください

市は、技能功労者、優秀技能者、青年優秀技能者を表彰しています。

対象 市内に居住し、市内で職業についている方で、次の要件を備えている方。ただし、勤務先が大企業の方は除きます

○技能功労者(10人以内)

同一職種に30年以上就いている55歳以上の方で、功績が顕著である方

○優秀技能者(10人以内)

同一職種に20年以上就いている40歳以上の方で、優秀な技能を持ち、他の模範となる方

○青年優秀技能者(5人以内)

同一職種に10年以上就いている40歳未満の方で、優秀な技能を持ち、将来を期待される方

推薦方法 各種職業団体や職種の代表の方などが、市役所商工課(4階・赤通路)にある推薦書で推薦してください

締め切り 8月16日(金)

表彰者の決定 審査委員会の選考後、市長が決定します

▶問い合わせ 商工課 ☎33-1513

市立病院看護婦



応募資格 平成9年3月に看護婦等養成施設卒業見込みの方

募集人員 若干名

選考方法 ○第一次試験 小論文

○第二次試験(第一次試験合格者のみ)

面接・身体検査

試験日・会場 ○第一次試験 10月5日(土)・市立病院

申込方法 9月2日(火)～26日(木)(土・日曜を除く)に履歴書、在学証明書、成績

ON AIR

■テレビ神奈川(TVK)

マイコミュニティ-小田原

「たてながHAMA大国」の番組中にイベント情報を放送

放映 毎月第2・4水曜13:55～

■ラジオウエスト(1485kHz)

ラジオ広報板(5分)

市からのお知らせを放送

放送 毎週金曜13:30～

■FM Yokohama(80.7Mhz・84.7Mhz)

市からのPRをスポットで放送

放送 毎週金曜7:15～

■ニッポン放送(1242kHz)

市からのPRをスポットで放送

放送 毎週金曜10:09～



広報広聴課 ☎33-1261

明書を市立病院病院総務課に直接、または郵送で

▶申し込み 〒250小田原市久野46 小田原市立病院病院総務課 ☎34-3175
内線604

市立病院臨時職員

職種 診療放射線技師・給食調理員

勤務時間 午前8時30分～午後5時ほか(応相談)

▶問い合わせ 病院総務課 ☎34-3175
内線604

市立病院短期学生アルバイト

業務 放射線フィルムの整理

期間 8月中旬の1週間程度

勤務時間 午前8時30分～午後5時

募集人数 若干名

賃金 市立病院の基準による

▶問い合わせ 病院総務課 ☎34-3175
内線604

スポーツ

トレーニングルーム
利用者講習会

スポーツ会館トレーニング室の利用を希望する方を対象にした講習会です。

日時 8月10日(土)午後1時30分～3時
8月21日(水)午後6時30分～8時
8月24日(土)午後6時30分～8時
9月14日(土)午後1時30分～3時

※中学生以下は使用できません

▶問い合わせ スポーツ会館 ☎23-2465

スポーツ公開講座

日時 9月4日(水)・11日(水)午前9時30分～午後3時30分

場所 西湘地区体育センター

対象 スポーツリーダーとスポーツリーダーをめざす方

定員 30人

内容 体力づくり体操指導の実際

受講料 無料

申込期間 8月4日(日)～25日(日)

▶申し込み 西湘地区体育センター☎48-2650

こどもの行事

児童対象の行事など

にんぎょうげき
フェスティバル

夏休みの最後を飾る、楽しい「にんぎょうげきフェスティバル」を開きます。

日時 8月25日(日)午前10時30分～正午

場所 かもめ図書館視聴覚ホール

プログラム・キャスト

- ①まほうつかいとでし・人形劇団わらわら
- ②ブタ飼いとヒツジ飼い・旭丘高校児童文化部
- ③トン吉とカラス・アマチュア人形劇団ボッケ

戦没者等の遺族に
特別弔慰金を支給

戦没者などの遺族に特別弔慰金が支給されます。

▶問い合わせ 福祉総務課 ☎33-1863

④三まいのおふだ・東富水幼稚園母親人形劇団シュークリーム

入場料 無料

定員 180人・先着順

▶問い合わせ 市立図書館 ☎24-1057

尊徳記念館子供映画会

日時 8月10日(土)午前10時～・午後2時～プログラム(アニメ)

①アルプスの少女ハイジ はなればなれに(27分)

②おばけちゃん(25分)

場所 尊徳記念館1階視聴覚室

定員 60人

入場料 無料

▶問い合わせ 尊徳記念館 ☎36-2381

全国・海外尊徳記念書道展

日本、中国、シンガポール、マレーシアから約6万人が参加。その作品の中から、文部大臣賞・知事賞などの特別賞作品など約1500点を展示します。

日時 8月9日(金)～11日(日)午前10時～午後7時

場所 尊徳記念館

▶問い合わせ 尊徳書道協会事務局 ☎36-0593

図書館こども映画会

時間 午後1時30分

入場料 無料

▶問い合わせ かもめ図書館 ☎49-7800

①かもめ図書館

場所 視聴覚ホール

定員 180人・先着順

プログラム(アニメ)

- ①8月4日(日) 小さなバイキングビッケ大きな木馬の贈りもの(23分)、したきりすずめ(18分)
- ②8月10日(土) 心をむすぶ愛のハーネス(児童劇55分)
- ③8月11日(日) おじいさんのランプ(22分)、とうきちとむじな(18分)
- ④8月15日(木) にんげんをかえせ(児童劇20分)、ビルマの豎琴(43分)
- ⑤8月18日(日) ババロアさんこんばんわ(24分)、豆象武勇伝(15分)

②市立図書館

場所 小劇場

定員 80人・先着順

プログラム(アニメ)

- ①8月7日(水) 世界の作曲家ベートーベン(23分)、こぎつねコンとこだぬきポン

(21分)

- ②8月18日(日) クマのプーさん プーさんとはちみつ(30分)、いたずらあまんじやく(22分)

募集

人員、作品、参加者の募集など

酒匂川を
テーマにした写真

豊かな自然景観を備えた酒匂川は、私たちに潤いと安らぎを与えてくれます。酒匂川水系保全協議会は、「酒匂川」をテーマにした写真を募集します。優秀な作品は引き伸ばして、市役所市民ロビーに展示します。展示終了後パネルにした作品をさしあげます。

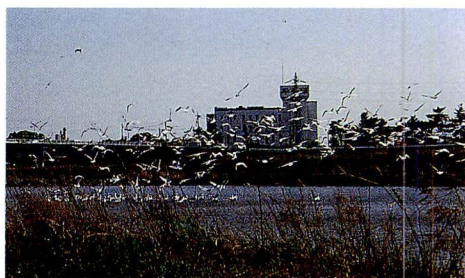
応募資格 酒匂川に親しんでいる方ならどなたでも

締め切り 9月13日(金)(いつ撮影した写真でも結構です)

応募方法 サービス判以上のサイズのプリントを郵送または直接

※応募作品は返却しません。応募者全員に記念品をさしあげます

▶申し込み 〒250小田原市荻窪300 酒匂川水系保全協議会(環境保全課) ☎33-1481



動く市政教室の参加団体

市民の皆さんに小田原の施設を知っていただき、広く利用してもらうために行っている「動く市政教室」。平成7年度は115団体、3,089人の方が参加しました。サークル、PTA、また友だち同士で市の公共施設を見学してみませんか。今回は10月から12月までの参加団体(20人～35人)を募集します。

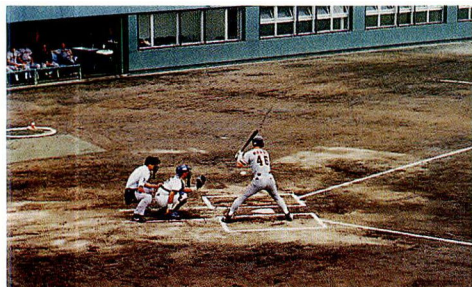
実施日 10月18・25・29・30日、11月1・5・6・8・12・13・15・19・20・22・26・27・29日、12月3・4・6・10・11・13・17・18・20日

申込期限 8月30日(金)。同じ日を希望する団体が2つ以上ある場合は抽選します

▶申し込み 広報広聴課 ☎33-1263

プロ野球 イースタンリーグ公式戦

横浜ベイスターズVS読売ジャイアンツ



日時 9月14日(土)午後1時30分

場所 小田原球場

入場料 内野席=大人1,000円、小人(5歳~中学生)500円、外野席は無料

入場券の発売 8月4日(日)から、小田原球場、市民会館、市役所総合案内、マロニエ、スポーツ会館、志澤デパート、おだちかインフォメーションで

▶問い合わせ 小田原球場 ☎ 42-5511、公園緑地課 ☎ 33-1583

図書館所蔵資料展

江戸時代の高名な浮世絵師、歌川国芳の作品を中心に集めた西相模の武者絵展を開きます。源頼朝が平家打倒の旗揚げをした石橋山合戦での真田与市の奮闘振りを描いたもの、源頼光の四天王の一人である坂田金時、曾我兄弟の仇討ちなどの武者絵25点を展示します。「豊国の役者」、「広重の景色」とともに、三羽鳥とうたわれた「国芳の武者絵」をぜひご鑑賞ください。

また、会期中の25日(日)には、映画監督の井上和男さんと市史編さん専門委員の岩崎宗純さんのディスカッションによる図書館教養講座を開きます。

①資料展『西相模の武者絵』

日時 8月17日(土)~30日(金)午前9時~午後4時30分(月曜休館)

フラワーガーデン 8月の行事

草花の即売会 8月11日(日)・25日(日)

午前9時~午後3時

食虫植物展 8月13日(火)~25日(日)



フラワーガーデン ☎ 34-2814

場所 かもめ図書館集会室

入場料 無料

②教養講座

日時 8月25日(日)午後2時~4時

場所 かもめ図書館視聴覚ホール

演題 国芳の映像美

定員 165人・抽選

入場料 無料



▶申し込み

②は8月2日(金)~16日(金)に市立図書館 ☎ 24-1056へ電話か直接窓口まで

サロンコンサート

山形由美
フルート~その優雅なる調べ



日時 9月21日(土)午後1時30分開場・午後2時開演

場所 中央公民館ホール

出演 山形由美(フルート)、東誠三(ピアノ)

曲目 モーツァルト「ソナタへ長調k.v.13」エネスコ「カンタービレとプレスト」ヴァーレーズ「比重21.5」ほか

入場料 一般2,000円・高校生以下1,000円(全席自由)

入場券の発売 8月21日(水)から中央公民館、国府津公民館、志澤デパート、伊勢治書店、八小堂書店、平井書店、井上楽器店、大村楽器店で

▶問い合わせ 中央公民館 ☎ 35-5300

スポーツ

各種スポーツ大会、講習会など

ジョギングを楽しもう

期日 年間を通じ毎日曜日

集合 二の丸お休み処前に午前8時

参加料 無料

▶問い合わせ 小田原走ろう会・鴨打健雄 ☎ 47-5727

歩きの会

(山北・洒水の滝)

期日 8月11日(日)・雨天の場合は18日(日)

集合 午前9時小田原駅東口

参加料 300円(交通費別)

持ち物 昼食

▶問い合わせ 歩け歩きの会・山崎賢蔵 ☎ 23-2393

スポーツ会館「体育教室」

①ちびっ子体操教室

日時 9月4日~10月23日の毎週水曜日(全8回)午後3時30分~4時30分

対象・定員 5歳~小学校入学前・35人

申込期間 8月22日(木)~28日(水)午前10時~午後5時(22日午前10時~10時15分で定員を超えた場合は抽選)

②とび箱・鉄棒教室

日時 9月6日~10月25日の毎週金曜日(全8回)午後4時~5時

対象・定員 小学1年~3年・40人

申込期間 8月16日(金)~23日(金)午前10時~午後5時(16日午前10時~10時15分で定員を超えた場合は抽選)

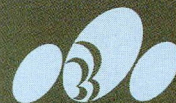
場所 ①②ともスポーツ会館体育室

指導 ①②とも小田原体操リーダー会

参加料 ①②とも3,000円(傷害保険料を含む)

持ち物 運動着、体育館ばき、タオル

▶申し込み スポーツ会館 ☎ 23-2465



小田原競輪

周辺道路総合交通規制日

8月

13日(火)・14日(水)・15日(木)
18日(日)・19日(月)・20日(火)

事業課 ☎ 23-1101

イベント

各種催しものなど

中央公民館フェスティバル

8月24日(土)、25日(日)の2日間、中央公民館フェスティバルを開きます。楽しい催しが盛りだくさんのお祭りです。

▶問い合わせ 中央公民館 ☎ 33-4000

8月24日(土)					
	4階	3階	2階	ホール	ロビーほか
10	作品展 (水彩画、水墨画、写真、生け花、刻字など)	作品展 (陶芸、七宝焼、囲碁など)	作品展 (写真、つまみ絵、ステンドグラスなど)	映画会	模擬店 (焼きそば、とろろてん、綿菓子、かき氷ほか)
11					
12					
1					
2	作品展 (24日と同じ)	舞台発表 (大正琴、気功、映画会など)	舞台発表 (北条太鼓、コーラス、フラメンコなど)	健康相談コーナー	蚤の市
3					
4					
5					
6	ダンスパーティー				蚤の市
7					
8					

8月25日(日)					
	4階	3階	2階	ホール	ロビーほか
10	作品展 (24日と同じ)		舞台発表 (大正琴、気功、映画会など)	映画会	模擬店 (焼きそば、とろろてん、綿菓子、かき氷ほか)
11					
12					
1					
2	ダンスパーティー				蚤の市
3					
4					
5					蚤の市
6					

みんなの消費生活展



今年のテーマは、「暮らし上手の衣生活～衣料品の購入からリサイクルまで～」。衣生活をより豊かにするための身近な情報、リサイクル、高齢者に適した衣服など、衣生活から私たちの明日の暮らしを考えます。皆様のご来場をお待ちしています。

日時 9月7日(土)・8日(日) 午前10時～午後6時30分 (8日は午後5時まで)

場所 志澤デパート7階催事場

※入場無料、粗品進呈

▶問い合わせ 市民生活課 ☎ 33-1396

夏の風物詩 花火大会



■小田原花火大会

酒匂川スポーツ広場で毎年開催される花火大会は、従来の伝統や情緒という要素に、光と音の演出を組み合わせ、総数7000発もの色とりどりの花火を打ち上げます。関東随一の規模を誇る全長300m、高さ30mの大ナイアガラをはじめ、単発、仕掛け、スターメインなどが「きらめく城下町・おだわら」の夏の夜空を彩ります。

日時 8月8日(木) 午後6時30分から (雨天強風の場合は10日に延期)

場所 酒匂川スポーツ広場

交通 JR鴨宮駅から徒歩15分。小田原駅東口7番乗場から城東車庫行きバスで今井バス停下車徒歩5分

▶問い合わせ 観光協会 ☎ 22-5002

■大松明・線香まつり

日時 8月12日(月) 午後7時から (小雨決行)

場所 御幸の浜海岸

▶問い合わせ 大松明保存会 (圓福寺内)

☎ 22-9511

■国府津海岸納涼花火大会

日時 8月14日(水) 午後7時から (雨天強風の場合は16日に延期)

場所 国府津海岸森戸川河口

▶問い合わせ 国府津商工振興会 ☎ 47-

4302

紋章上絵手書き実演



小田原城天守閣で開催中の紋章展で、無形文化財の紋章上絵師が手描き実演をします。家紋に関する質問も受けます。この機会に伝統の技術をご覧ください。

日時 8月4日(日)・11日(日)・18日(日)・25日(日) 午前10時～午後4時

場所 小田原城天守閣4階

※紋章展は8月30日(金)まで

▶問い合わせ 小田原城天守閣 ☎ 23-1373

県立生命の星・地球博物館の催し

①磯の動物ウォッチング (野外観察)

日時 9月14日(土) 午前10時～午後3時

対象 小・中学生と保護者

定員 50人・抽選

観察場所 真鶴半島

②植物分類・生態講座 (研究テクニク講座)

日時 9月21日(土) 午後1時30分～午後3時30分
9月22日(日) 午前10時～午後3時

内容 箱根の植物群落

対象 一般

定員 40人・抽選

参加料 ①②とも無料

申込方法 ①②とも、往復はがきに、参加行事名、参加代表者の住所・氏名・電話番号、参加者全員の氏名・年齢(学年)を書いて、申し込んでください

申込期間 ①8月6日(火)～27日(火)

②8月13日(火)～9月3日(火)

▶申し込み 〒250小田原市入生田499 神奈川県立生命の星・地球博物館 ☎ 21-1515

広報 おだわら

August 1, 1996 No.680

市民会館自主公演

文学座「女の一生」

日時 10月1日(火)午後6時開演

会場 市民会館大ホール

主な出演者 平淑恵、八木昌子

入場料 S席5,000円、A席4,000円、
B席3,000円(全席指定)

前売り 市民会館事務室、志澤デパート、おだちかインフォメーションで好評発売中(1人1回5枚まで)

▶問い合わせ 市民会館 ☎ 22-7146



m message

松永記念館常設展展示替え

こより絵による東海道五十三次展 ～広重「東海道五十三次」より～

8月1日からは、東海道五十三次のうち、浜松から京までのこより絵を紹介します。ぜひ、ご来館ください。

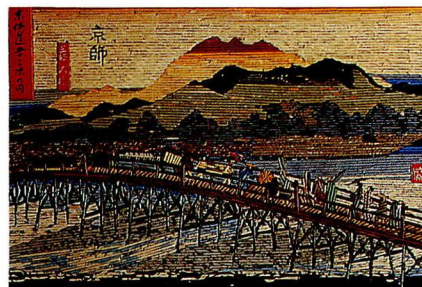
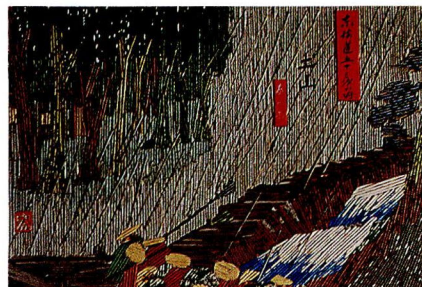
期間 8月1日(木)～10月13日(日)

時間 午前9時～午後5時(入場は午後4時まで)

休館日 毎週月曜日・月末日

入館料 無料

▶問い合わせ 郷土文化館 ☎ 23-1377



天守閣広場で幽玄な舞

小田原城薪能

夜空に青く浮かぶ小田原城を背景に、かがり火の中に繰り上げられる幽玄なドラマをどうぞ。

日時 10月3日(木) 午後5時30分～8時30分ごろ

場所 小田原城天守閣広場(雨天の場合は、市民会館大ホール)

演目・主演者

- ①仕舞「嵐山」・杉崎二郎
- ②仕舞「巻絹」・中津川悦子
- ③能「巴」・観世恭秀
- ④狂言「仏師」・山本則直
- ⑤能「鶴飼」・坂井音重

入場料 3,000円

前売入場券 9月2日(月)から(土・日曜を除く)午前10時～午後4時に観光協

会(商工会議所会館内・城内1-21)で販売します。先着800枚。

○晴天予約引換券 前売入場券完売後、当日が晴天のみ有効の晴天予約引換券を150枚に限り観光協会事務室で配布します。10月3日(木)午後0時30分～3時に会場入口で、予約引換券と料金で入場券に引き換えます

○当日売入場券 先着50枚を午後3時から会場入口で発売

※雨天の場合は市民会館で開催しますので、晴天予約引換券は無効となり、当日入場券は発売しません

▶問い合わせ 観光協会 ☎ 22-5002、観光課 ☎ 33-1521



楽しい催しがもりだくさん

中央公民館 フェスティバル

日時 8月24日(土)・25日(日) 午前10時～午後5時

内容 サークルの舞台発表・作品展示・模擬店・蚤の市・子供映画会など

※詳しくは23ページをご覧ください

▶問い合わせ 中央公民館 ☎ 35-5300

